

**平成24年度授業改善アンケート  
調査結果報告書**

平成25年3月

名城大学 FD委員会

# 目次

---

授業改善アンケートについて	1
サマリー	2
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	3
学生用アンケート用紙	4
教員用アンケート用紙	6
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント	8
2 授業改善アンケートの見方	9
3 授業満足度の変化	11
4 調査結果のまとめ	14
5 学部別改善ポイント	18
〔学部別分析結果〕	
6 授業満足度から見た授業改善項目	22
7 学生と教員の授業満足度の関係	34
8 教員と学生の対象レベルの一致	35
9 学力程度別の授業満足度	36
10 自学自習時間と授業満足度の関係	37
11 出席率	40
12 出席学生数と出席学生数別授業満足度	41
13 授業に関する良い点(学生の自由回答)	42
14 授業に関する改善点(学生の自由回答)	46
15 アンケート結果を受けて改善していきたい点(教員の自由回答)	50
〔設問別集計結果〕	
16 教員の自己評価の時系列比較	52
17 学生評価の時系列比較	53
18 基礎データ教員用設問	54
19 基礎データ学生用設問	70

# 授業改善アンケートについて

---

平成 24 年度授業改善アンケートについて

平素は本学の FD 活動にご協力いただき、ありがとうございます。

平成 12 年度に初めて実施された授業改善アンケートは、本年度で 13 回目となります。授業改善アンケートは学生満足度アンケートチームで企画・運営しています。平成 23 年度から始動した本チームでは、アンケート結果から、学生の授業満足度に大きく影響するファクターが何であるのかを洗い出し検討しました。その結果、①授業の分かりやすさ、②板書、パワーポイントの文字、③面白く興味をもてる授業、の 3 点が重要であることが判明しました。これら 3 点は、授業実施の上で最も基本的なポイントであるにもかかわらず、学生からの改善を求める声が多いため、全学の授業担当者に向けて、上記 3 点を平成 24 年度後期の授業改善目標として授業実施をお願いすることにしました。この点に関するアンケート結果は、①については改善度アップが見られ、②③についても若干の改善が見られたことから、今後とも全学の授業担当者に対して具体的な、焦点をしばった改善目標の設定が授業改善に役立つのではと考えております。

また、新たに学部・学科別にアンケート結果を集計し、各学部・学科における FD 活動の参考となるよう各学部に向けて発信しました。

授業改善アンケートにおいて、教員の自由記述欄がありますが、ここでも多くの指摘をいただきました。その中でも、授業環境（設備面での要望：設備の不具合、受講人数等）についてが最も多く、ついでアンケート質問の内容（質問の適切さ等）、アンケートにおける負荷（授業時間の減少、学生への負荷等）、実施科目の是非（増加希望、対象学年の問題）、アンケート実施回数・時期（年 2 回の是非、授業の中間期での実施等）、アンケートの活用・分析（情報の分析、目的、学生との成績との関係等）、などありました。これらのいくつかについては、本チームでアンケート実施前に審議をしておりましたが、まだまだ多くを見直す必要がありそうです。

学生の授業満足度は徐々に改善される傾向にあり、4 年前（平成 20 年度前期）と比べ 10 ポイントほど上昇しております。このことは、これまでの FD 委員会と学生満足度チームの活動が大変有効であったのではと思っております。今後とも、各先生方の授業改善への取り組みがさらに強化されますよう希望します。

FD 委員会 学生満足度チーム 座長 稲垣 公治

# サマリー

## 平成 24 年度前期アンケート調査の概要

### ○学生の授業満足度の変化 (Page.11-12)

全学の学生の授業満足度は 59.1%で、23 年後期とほぼ同率だった。

### ○改善要求の高い項目 (Page.22-23)

高いポイントが示された「改善要求度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「理解配慮」 44.2 ポイント

質問項目：この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

2. 「興味工夫」 40.2 ポイント

質問項目：この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている

3. 「興味喚起」 34.9 ポイント

質問項目：この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた

### ○学生からの自由回答の主な意見 (Page.42-43、46-47)

良い点 (自由回答に記載のあった学生数 22,063 人)	改善が必要な点 (自由回答に記載のあった学生数 12,298 人)
1. 教員の説明が分かりやすい 5,906 件	1. 板書・パワーポイントの文字が読みにくい 4,067 件
2. 板書・パワーポイントの文字が読みやすい 3,810 件	2. 教員の説明が分かりにくい 1,639 件
3. 授業が面白い 3,035 件	3. 声が聞き取りにくい 1,352 件

## 平成 24 年度後期アンケート調査の概要

### ○学生の授業満足度の変化 (Page.11、13)

全学の学生の授業満足度は 63.0%で、前期に比べ、3.9 ポイント増加した。

### ○改善要求の高い項目 (Page.22-23)

高いポイントが示された「改善要求度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「理解配慮」 41.5 ポイント

質問項目：この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

2. 「興味工夫」 38.6 ポイント

質問項目：この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている

3. 「興味喚起」 34.7 ポイント

質問項目：この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた

### ○学生からの自由回答の主な意見 (Page.44-45、48-49)

良い点 (自由回答に記載のあった学生数 14,213 人)	改善が必要な点 (自由回答に記載のあった学生数 7,256 人)
1. 教員の説明が分かりやすい 3,462 件	1. 板書・パワーポイントの文字が読みにくい 2,486 件
2. 授業が面白い 2,421 件	2. 教員の説明が分かりにくい 864 件
3. 板書・パワーポイントの文字が読みやすい 2,379 件	3. 資料が見にくい 760 件

# 調査概要と対象者属性

## 目的

教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

## 調査方法

教員調査、学生調査ともアンケート用紙による自記式アンケート

## 実施期間

【24年前期】 2012.7.3 ~ 2012.7.19

【24年後期】 2012.12.18 ~ 2013.1.12

## 調査主体

FD委員会 学生満足度チーム

## 対象授業

本アンケートは平成24年度前期・後期に学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。

- ・ 体育科目
- ・ リレー方式で開講されている科目
- ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目
- ・ 履修登録者数が10名未満の科目

## 回答者属性

### 【24年前期】

○学生 48,046人

○教員 648人 (750設定授業中 684授業で実施 実施率91.2%) (※)

(※) アンケートを記入していない教員が存在するため、実施授業数と教員回答者数は合致していません。

○教員コメント記載件数 351件 (684実施授業中 351件のコメント 記載率51.3%)

### 【24年後期】

○学生 40,036人

○教員 616人 (707設定授業中 662授業で実施 実施率93.6%) (※)

(※) アンケートを記入していない教員が存在するため、実施授業数と教員回答者数は合致していません。

冊子刊行納期の関係上、アンケートの一部は集計に含まれておりません。

○教員コメント記載件数 281件 (662実施授業中 281件のコメント 記載率42.4%)

## 開講学部別回答者数

	24年前期					24年後期				
	実施 授業数	学生		教員		実施 授業数	学生		教員	
		常勤 授業受講	非常勤 授業受講	常勤	非常勤		常勤 授業受講	非常勤 授業受講	常勤	非常勤
法学部	89	2,987	2,862	28	53	80	2,783	1,495	27	42
経営学部	39	3,292	489	29	10	41	2,655	563	30	10
経済学部	22	2,811	444	14	4	24	1,823	442	15	6
理工学部	262	9,607	6,331	133	121	245	7,622	5,432	120	114
農学部	42	2,971	1,084	30	11	45	3,414	540	36	8
薬学部	35	2,963	406	25	7	39	3,757	276	30	5
都市情報学部	37	2,824	492	26	8	40	1,842	719	22	14
人間学部	28	1,991	485	20	5	19	1,547	67	17	1
教職課程・学芸員課程	25	624	717	9	16	19	302	476	7	12
全学共通教育部門	105	1,381	3,285	23	76	110	1,619	2,662	31	69
計	684	31,451	16,595	337	311	662	27,364	12,672	335	281

# 学生用アンケート用紙

氏名 ( ) 学籍番号 ( ) 学年 ( 年)

科目名 ( )

名城大学 FD 委員会  
学生満足度チーム

## 平成 24 年度前期・後期授業改善アンケート(学生用)

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

■ 回答方法：質問 1～19 については、もっとも当てはまる記号を一つ選び、○をつけてください。  
質問 20・質問 21 は自由記述です。  
(※今年度からマークカードを廃止しておりますので、アンケート用紙に直接○をつけてください。)

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
2. この授業における自分の学力はどの程度だと思えますか。  
5.上 4.どちらかといえば上 3.中 2.どちらかといえば下 1.下
3. この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。  
5.週 3 時間以上 4.週 1 時間-3 時間未満 3.週 30 分-1 時間未満 2.週 30 分未満 1.していない
4. 自分はこの授業が理解できている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
5. この授業では自分にとって、新しいことを学んでいる。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
6. この授業によって実力が身に付き、将来役立つと思う。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
7. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
8. この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
9. この授業は私語が少ない。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
10. この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
11. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
12. この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
13. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
14. この授業では成績評価基準が明確に示されている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
15. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
16. この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
17. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
18. この授業は満足のいくものである。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
19. この授業における、試験の方法には満足している。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

裏面へ進んでください

# 学生用アンケート用紙

---

20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。


21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。


以上でアンケートは終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

# 教員用アンケート用紙

氏名 ( )

科目名 ( )

名城大学 FD 委員会  
学生満足度チーム

## 平成 24 年度前期・後期授業改善アンケート(教員用)

FD 委員会では教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。回答内容につきましては FD 活動以外の目的では使用致しませんので、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

■ 回答方法：質問 1～16 については、もっとも当てはまる記号を一つ選び、○をつけてください。  
質問 17・18 は自由記述です。  
(※今年度からマークカードを廃止しておりますので、アンケート用紙に直接○をつけてください。)

1. この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にある。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。  
5.上位層 4.どちらかといえば上位層 3.中位層 2.どちらかといえば下位層 1.下位層
3. 学生はこの授業が理解できている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
4. この授業では学生は新しいことを学んでいる。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
5. この授業は学生の将来に役立つ。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
6. この授業では学生の学問への興味・関心を引くようしている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
7. この授業では学生自身が自分で調べ、考えるようになっている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
8. この授業では私語に対し、きちんと対応している。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
9. この授業に対し、自分は熱意をもって取り組んでいる。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
10. この授業は学生に興味をわくように工夫した進め方をしている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
11. この授業では大切なポイントをきちんと示している。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
12. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている。  
5.とてもあてはまる 4.ややあてはまる 3.どちらともいえない 2.あまりあてはまらない  
1.全くあてはまらない
13. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくしている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
14. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすい。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
15. この授業では学生の理解度を確認しながら進めている。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
16. 自分はこの授業に満足している。  
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

裏面へ進んでください



# 教員用アンケート用紙

---

17. 授業改善アンケートについてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。


18. 組織的なFDのあり方についてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。

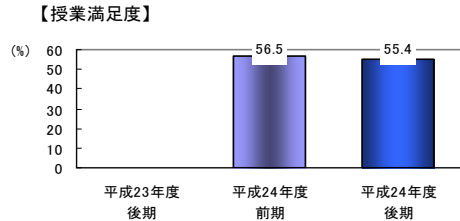

以上でアンケートは終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

# 1 授業科目の集計と項目別改善ポイント

<各教員へのフィードバック様式見本>

【名城大学FD】平成24年度前期・後期授業改善アンケート  
集計と項目別改善ポイント

●学部	科目名: ◎◎	時間割: ◎曜日 ▲限
履修登録者数: ○○人	回答者数: ○人	教員名: ×× ××
平成23年度後期実施科目名	平成24年度前期実施科目名	



【この科目の自学自習時間(%)】

	週3時間以上	週1時間-3時間	週30分-1時間	週30分未満	勉強していない	無回答
平成23年度後期	-	-	-	-	-	-
平成24年度前期	1.0	2.2	9.3	36.1	50.4	1.0
平成24年度後期	1.2	1.0	9.2	13.2	74.0	1.4

※平成23年度(後期)、平成24年度(前期)の授業が本授業の比較対象にならない場合、左グラフ、上表に反映されません

【各設問の評価】

設問	説明	学生	教員	全体影響度	授業別不満足
基礎知識	この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある	2.8	2	-	-
学力程度	この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか	2.9	4	-	-
理解度	自分はこの授業が理解できている	3.5	4	-	-
発見学習	この授業では自分にとって、新しいことを学んでいる	3.8	4	0.28	0.32
将来役立つ	この授業によって実力が身に付き、将来役立つと思う	3.7	5	0.37	0.37
興味喚起	この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	3.4	4	0.44	0.46
自学姿勢喚起	この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた	3.0	4	0.33	0.57
私語レベル	この授業は私語が少ない	3.2	-	0.19	0.47
私語対応	この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している	3.3	5	0.25	0.45
意欲熱意	この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	3.5	5	0.42	0.40
興味工夫	この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている	3.3	4	0.52	0.50
ポイント	この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	3.3	4	0.47	0.46
評価基準	この授業では成績評価基準が明確に示されている(※)	3.4	4	0.36	0.41
板書	この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	3.7	4	0.36	0.35
話方明瞭	この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	3.8	4	0.45	0.35
理解配慮	この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	3.2	4	0.50	0.51
授業満足	この授業は満足のいくものである	3.7	4	-	-
試験方法満足	この授業における、試験の方法には満足している	3.8	-	-	-

【学生スコアは加重平均得点、教員は素点のまま】

(※)評価基準の教員設問は「この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている」

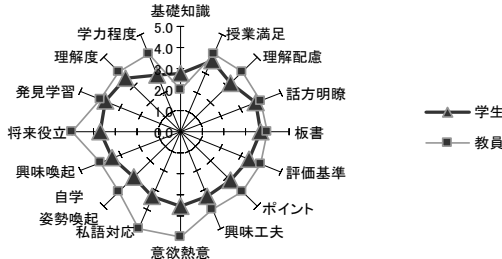
全体影響度＝全授業における「授業満足」との関係の強さを数値化したもの。

影響度が大きな場合、その設問項目の評価が高い(低い)ほど「授業満足」の値が高く(低く)なる。

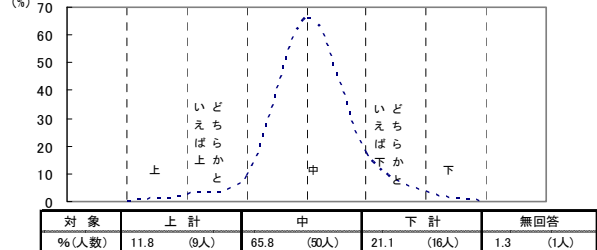
授業別不満足＝本授業における設問項目に対する不満の程度を数値化したもの。

1(最も不満が大きい)から0(全く不満がない)までの値を取る。値が大きいほど不満が大きい。

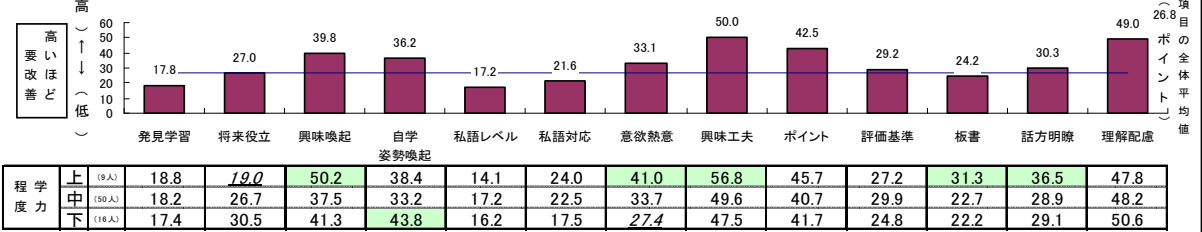
【教員スコアと学生スコアの比較】



【学力程度分布(自己申告)】



【改善要求度】設問項目に対する改善要求の大きさを数値化したもの。100(最も改善要求が高い)から0(全く改善の必要がない、非常に優れている)までの値を取る。値が高いほど学生からの改善の声が多い。全体影響度と授業別不満足との掛け合わせ後、指数化した。



学力程度	改善要求度													
	上 (19人)	18.8	19.0	50.2	38.4	14.1	24.0	41.0	56.8	45.7	27.2	31.3	36.5	47.8
	中 (50人)	18.2	26.7	37.5	33.2	17.2	22.5	33.7	49.6	40.7	29.9	22.7	28.9	48.2
下 (16人)	17.4	30.5	41.3	43.8	16.2	17.5	27.4	47.5	41.7	24.8	22.2	29.1	50.6	

全体より5ポイント以上高いものに網掛け、5ポイント以下低いものに斜線+下線

【上】学力を「上」もしくは「どちらかといえば上」に回答した学生。【中】学力を「中」に回答した学生。【下】学力を「どちらかといえば下」もしくは「下」に回答した学生。

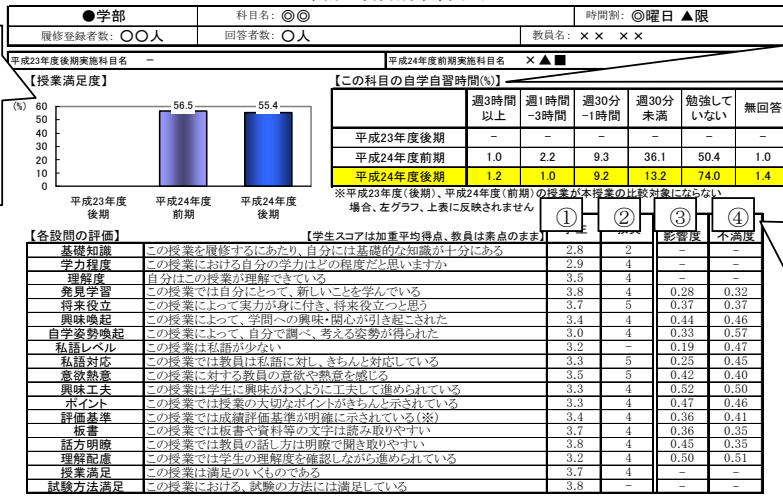
- 改善ポイント
- 「将来役立つ」「興味喚起」「自学姿勢喚起」「意欲熱意」「興味工夫」「ポイント」「評価基準」「話方明瞭」「理解配慮」の項目においては改善要求度が高い値を示しています。
  - 「意欲熱意」の項目においては学生の学力程度ごとに改善要求度に差がみられます。学力レベルに応じた授業の進め方への配慮が求められています。

コメント

# 2 授業改善アンケートの見方

## 授業改善アンケートの見方

【名城大学FD】平成24年度前期・後期授業改善アンケート  
集計と項目別改善ポイント



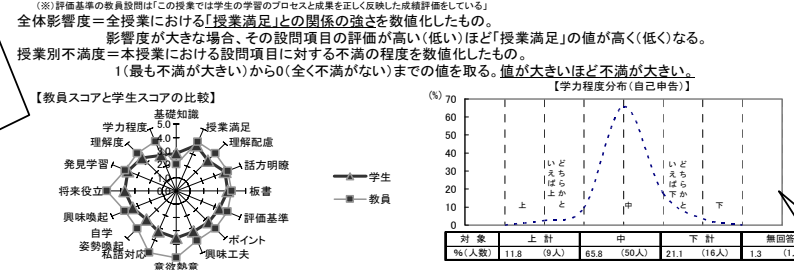
学生がこの授業にどれだけ満足しているかを表しています。(P.10【1】参照)

この授業における学生の「授業外」の学習時間です。(P.10【2】参照)

各項目のスコアです。(P.10【3】参照)

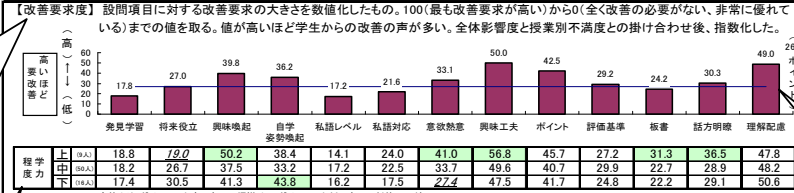
項目ごとに、教員と学生のスコアの差を見ることが出来ます。

差がない(グラフが重なる)ほど教員が学生の状況をよく把握しているといえます。(P.10【4】参照)



① 学生のスコアの平均  
② 教員がつけた回答の素点  
③ 学生の授業満足度に対する影響の度合い(全学的な値)  
④ この授業の各項目について、学生が不満と感じている度合い

値が高い項目ほど、改善が求められています。(P.10【5】参照)



この授業における学生の学力のばらつきです(学力は学生の自己申告)。(P.10【6】参照)

改善が求められる項目について、学生の学力別に算出しています。

【改善ポイント】

- 「将来役立つ」「興味喚起」「自学姿勢喚起」「意欲熱意」「興味工夫」「ポイント」「評価基準」「話方明確」「理解配慮」の項目においては改善要求度が高い値を示しています。
- 「意欲熱意」の項目においては学生の学力程度別に改善要求度に差がみられます。学力レベルに応じた授業の進め方への配慮が求められています。

改善ポイント	上(50人)	中(50人)	下(50人)
基礎知識	18.8	19.0	50.2
学力程度	18.2	26.7	37.5
理解度	17.4	30.5	41.3
発見学習	18.8	19.0	50.2
将来役立つ	18.2	26.7	37.5
興味喚起	17.4	30.5	41.3
自学姿勢喚起	18.8	19.0	50.2
私語レベル	18.2	26.7	37.5
私語対応	17.4	30.5	41.3
意欲熱意	18.8	19.0	50.2
興味工夫	18.2	26.7	37.5
ポイント	17.4	30.5	41.3
評価基準	18.8	19.0	50.2
板書	18.2	26.7	37.5
話方明確	17.4	30.5	41.3
理解配慮	18.8	19.0	50.2

中央線が全科目、各項目の全体平均値。

【コメント】

改善が求められている項目について、文章で表記しています。(P.10【7】参照)

## 2 授業改善アンケートの見方

授業改善アンケートの各値の詳細（番号は P.9 の注釈と対応しています）

### 【1】授業満足度

学生アンケート設問項目「この授業は満足 of いくものである」において、「強くそう思う」又は「ややそう思う」と回答した学生の割合（%）です。

過去 2 回分の値も掲載しております。（今回実施科目と別の科目であっても掲載）

### 【2】この科目の自学自習時間

学生アンケート設問項目「この科目の自学自習時間」の集計結果（回答した割合）です。授業時間を除いた学習時間です。

過去 2 回分の値も掲載しております。（今回実施科目と別の科目であっても掲載）

### 【3】各設問の評価

学生用アンケート、教員用アンケートそれぞれに対応する設問の回答です。

①学生：学生の回答の加重平均得点（肯定の強い方から「5」「4」「3」「2」「1」とする）

②教員：教員の回答の素点（肯定の強い方から「5」「4」「3」「2」「1」とする）

③全体影響度：学生の授業満足度への影響の強さを数値で表したものです。学生アンケート設問項目「この授業は満足 of いくものである」と各質問項目の連関係数です。

なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全科目で算出しています。

④授業別不満度：各設問項目において、学生 の 不満感 の 大きさを数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強くそう思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

### 【4】教員スコアと学生スコアの比較

【3】各設問の評価「①学生 学生のスコアの加重平均得点」と「②教員 教員のスコアの素点」を項目ごとに比較できるレーダーチャートです。

項目の偏りが少なければ円に近い形で表現され、どの項目で評価が偏っているのか把握できます。また学生と教員の値が重なれば、教員が学生の状況をよく把握しているといえます。

### 【5】改善要求度

【3】各設問の評価「③全体影響度」と「④授業別不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

改善要求度は、値が高いほど改善が求められています。また、学生の学力別に改善要求度も求めています。

### 【6】学力程度分布（自己申告）

学生アンケート設問項目「この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか」の回答状況を図示したものです。この授業における学生の学力程度の分布を表しています。

### 【7】改善ポイント

全科目、全項目における改善要求度の平均値と比較し、高い項目についてコメントを記載しています。学力程度別の結果で全体より±5ポイント以上の項目が上中下の3つのうち2つ以上ある項目について、学力レベルに応じた授業のすすめ方について、コメントを記載しています。

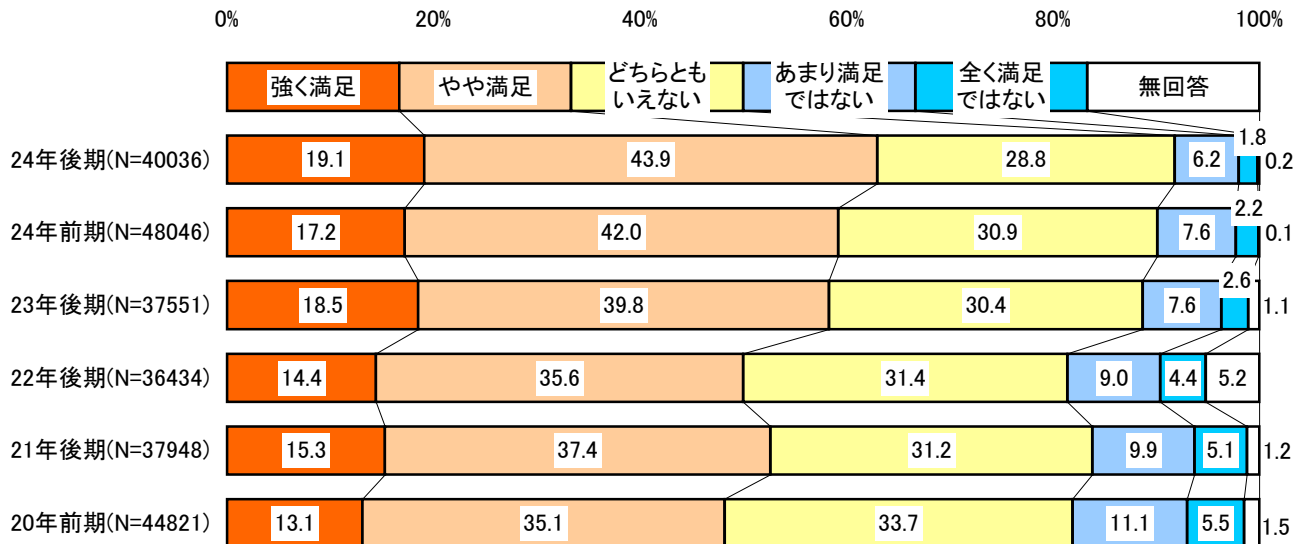
### 3 授業満足度の変化（1）

[学生]

学生の授業満足度を時系列でみると、全体では「強く満足」+「やや満足」の割合が24年前期より約4ポイント上昇した。学部・学科別でも農学部、薬学部を除き、一般的に上昇傾向で、特に経済学部では10ポイント以上上昇し、そのうち経済学科では15ポイント上昇した。

Q18. この授業は満足度のいくものである。

<授業満足度> 【全学部】



<学部・学科別授業満足度の時系列比較>

学部別	24年後期	24年前期	23年後期	22年後期	21年後期	20年前期	学科別	24年後期	24年前期	23年後期	22年後期	21年後期	20年前期
全体	63.0	59.1	58.2	50.0	52.6	48.2	全体	63.0	59.1	58.2	50.0	52.6	48.2
法学部	64.2	60.7	61.3	52.7	57.2	54.7	法学科	63.7	59.9	60.5	51.7	56.3	54.6
							応用実務法学科	71.5	69.7	71.8	70.5	72.7	56.5
経営学部	63.3	61.1	62.5	44.0	48.6	44.3	経営学科	63.4	62.1	61.2	43.4	47.3	43.5
							国際経営学科	63.0	55.7	67.4	48.2	51.4	49.2
経済学部	63.0	52.3	57.3	50.7	49.0	43.3	経済学科	63.0	48.0	58.1	49.9	45.8	42.0
							産業社会学科	62.8	70.4	55.5	53.4	63.2	47.4
理工学部	58.0	52.8	53.0	46.2	48.3	44.5	数学科	58.5	49.3	51.8	43.5	47.8	43.9
							情報工学科	59.3	51.7	52.6	44.4	45.9	42.5
							電気電子工学科	59.3	59.7	56.8	48.3	51.3	51.0
							材料機能工学科	51.8	44.1	47.0	41.6	40.2	41.0
							機械システム工学科	60.6	49.0	54.7	50.2	55.7	43.1
							交通機械工学科	56.3	55.8	57.1	48.7	45.8	41.4
							建設システム工学科	67.0	59.1	55.2	44.1	46.4	45.0
							環境創造学科	50.6	64.3	54.2	48.0	50.8	49.4
							建築学科	60.2	54.4	62.8	62.3	62.5	57.2
							工学系	56.3	49.7	48.4	41.6	40.0	38.1
農学部	60.9	62.2	57.9	52.0	55.6	53.0	生物資源学科	58.1	59.9	63.0	52.1	63.9	49.5
							応用生物化学科	64.7	60.5	54.7	55.7	53.2	53.6
							生物環境科学科	59.1	67.7	56.8	46.9	49.8	56.5
薬学部	62.7	63.5	57.5	51.6	55.9	51.2	薬学科	62.7	63.5	57.5	51.6	55.9	51.2
都市情報学部	67.4	64.6	61.9	49.6	51.9	44.5	都市情報学科	67.4	64.6	61.9	49.6	51.9	44.5
人間学部	75.5	71.7	65.3	57.0	56.2	58.9	人間学科	75.5	71.7	65.3	57.0	56.2	58.9
教職課程・学芸員課程	76.6	71.5	64.6	60.8	62.4	55.7							
全学共通教育部門	68.7	62.1	68.3	61.2	62.7	49.8							

※前回より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

※「強く満足」+「やや満足」のスコア(%)

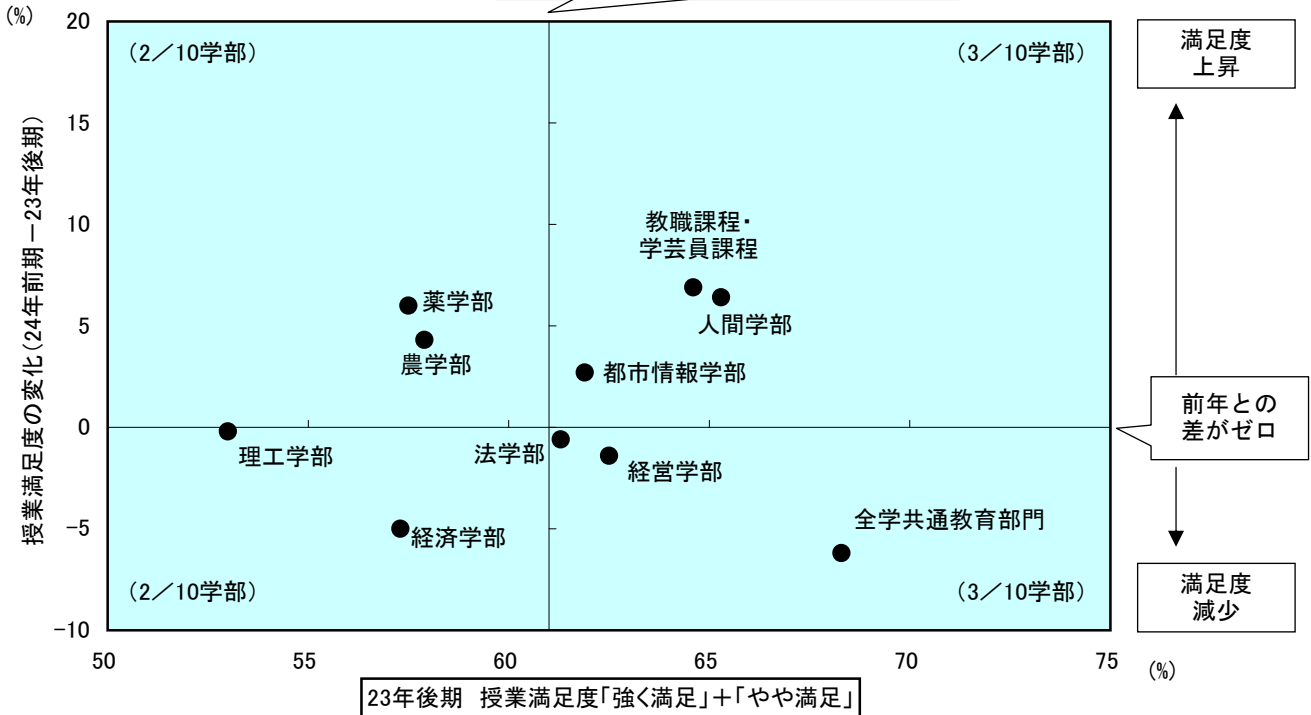
### 3 授業満足度の変化（2）24年前期

[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを23年後期と比較したところ、23年後期の全学平均よりも低かった学部のうち、満足度が上昇したのは薬学部と農学部であった。学科別では、産業社会学科など8学科の満足度が上昇した。

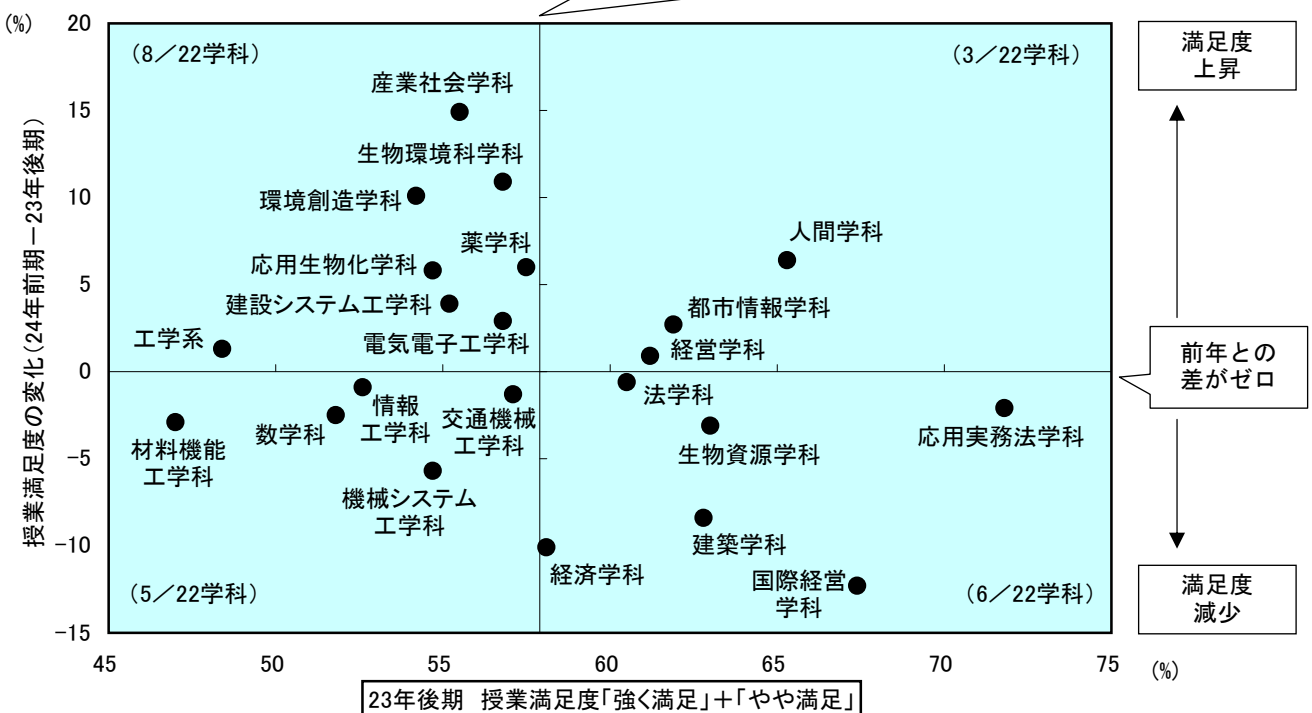
<24年前期 学部別授業満足度の変化>

23年後期の学部別授業満足度平均(61.0)



<24年前期 学科別授業満足度の変化>

23年後期の学科別授業満足度平均(57.9)



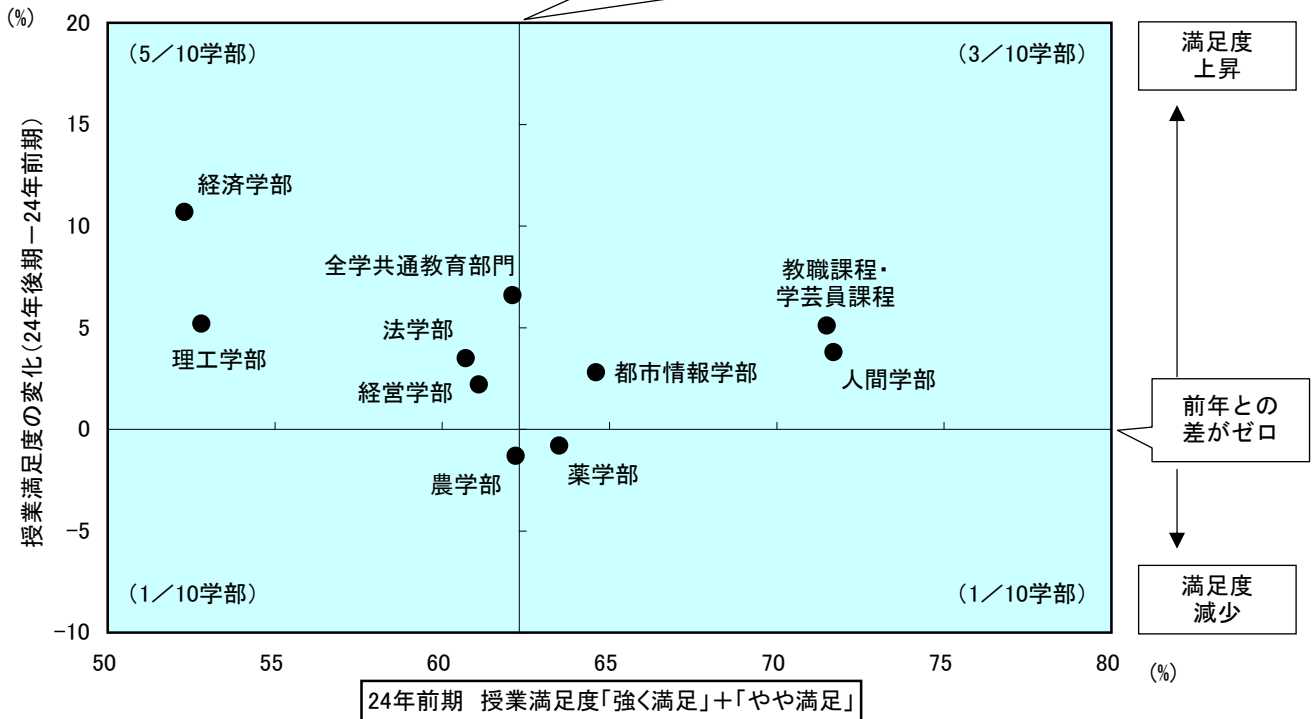
### 3 授業満足度の変化（2） 24年後期

[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを24年前期と比較したところ、24年前期の全学平均よりも低かった学部のうち、経済学部など5学部の満足度が上昇した。学科別では、経済学科など9学科の満足度が上昇した。

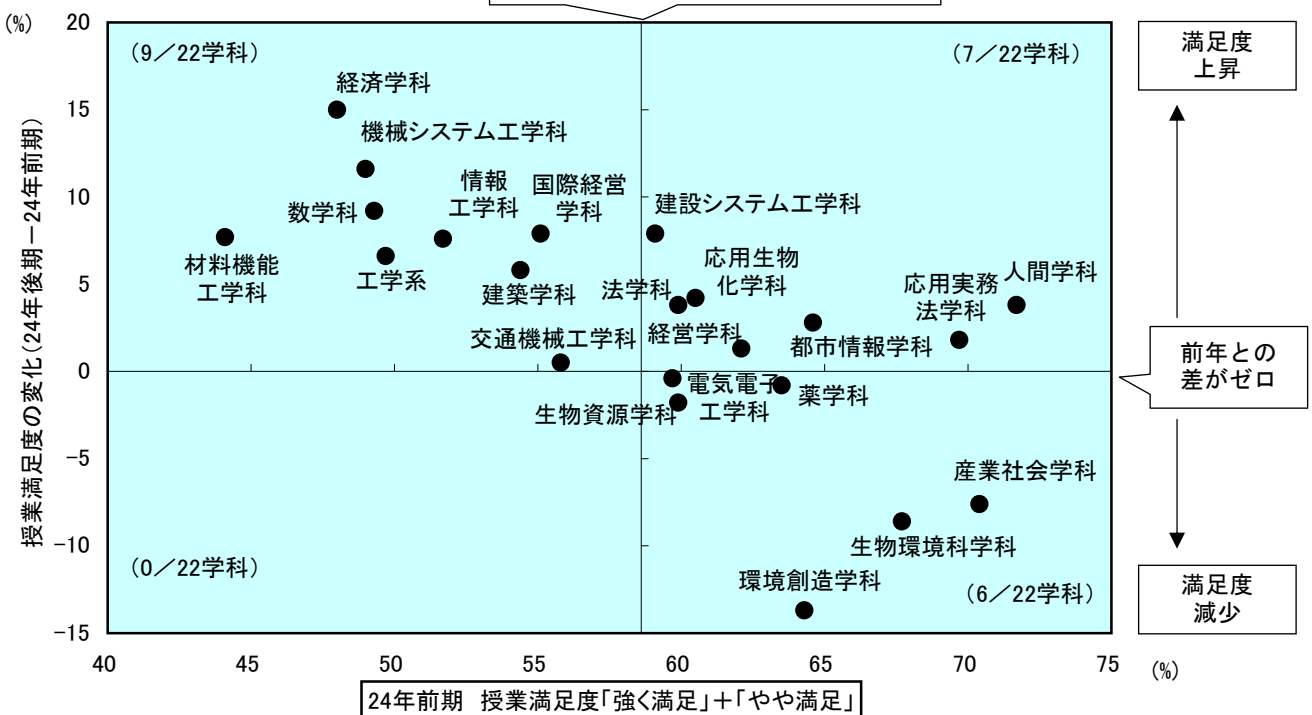
＜24年後期 学部別授業満足度の変化＞

24年前期の学部別授業満足度平均(62.3)



＜24年後期 学科別授業満足度の変化＞

24年前期の学科別授業満足度平均(58.6)



## 4 調査結果のまとめ 教員編 24年前期

教員の自己評価は「意欲熱意」「ポイント」「発見学習」「興味工夫」で特に高い。一方、学生の「基礎知識」が十分であるとする教員の割合は2割台にとどまる。前年と比較すると、全般的に上昇傾向で、「自分はこの授業に満足している」と回答した教員の割合は3ポイント上昇した。

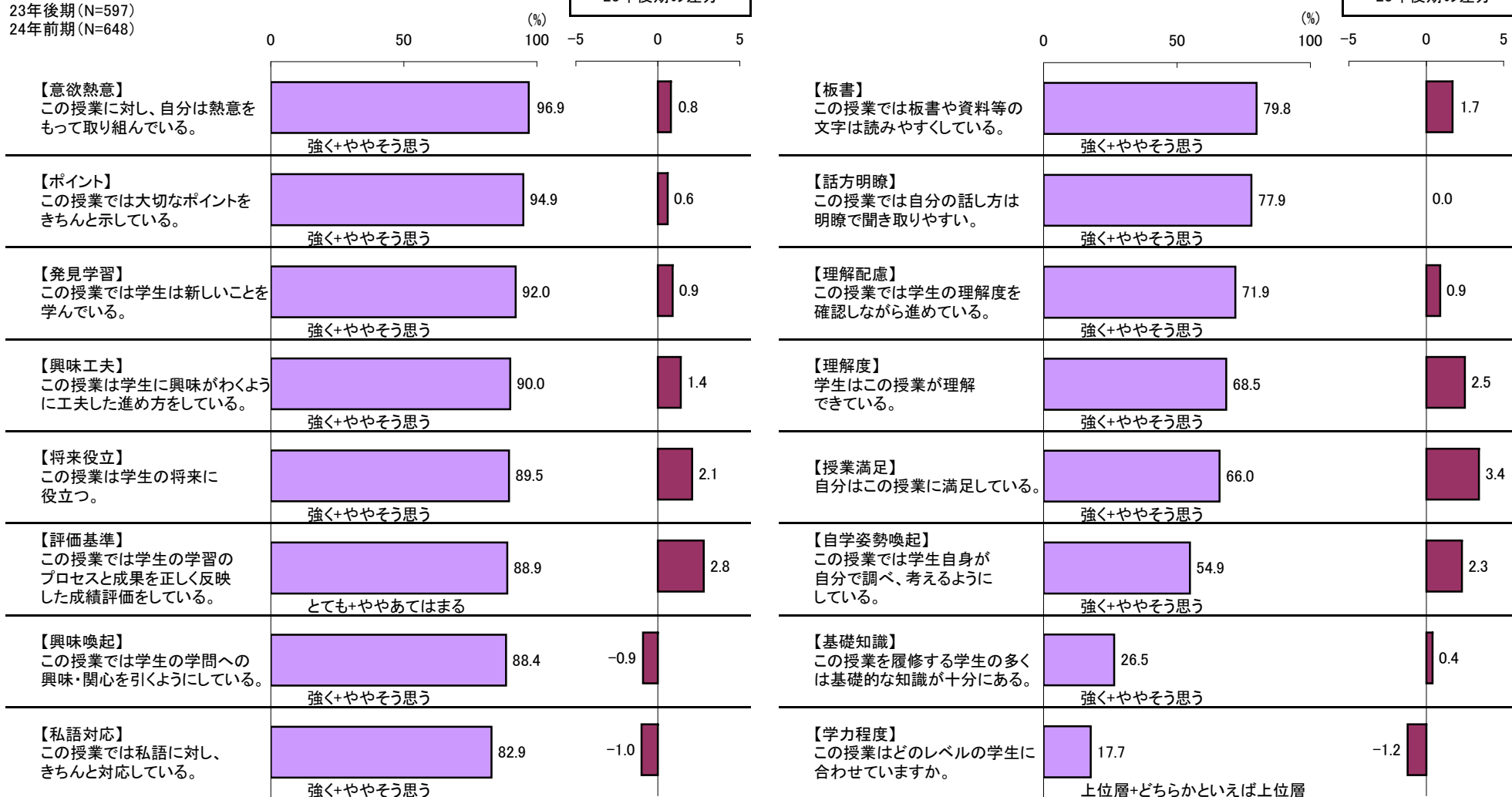
### 【24年前期】

23年後期(N=597)  
24年前期(N=648)

24年前期と  
23年後期の差分

※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

24年前期と  
23年後期の差分





## 4 調査結果のまとめ 教員編 24年後期

教員の自己評価は「意欲熱意」「発見学習」「ポイント」で特に高い。一方、学生の「学力程度」が上位層であるとする教員の割合は約2割にとどまる。24年前期と比較すると、「この授業では板書や資料等の文字は読みやすくしている」と回答した教員の割合は約4ポイント上昇し、8割を超える。

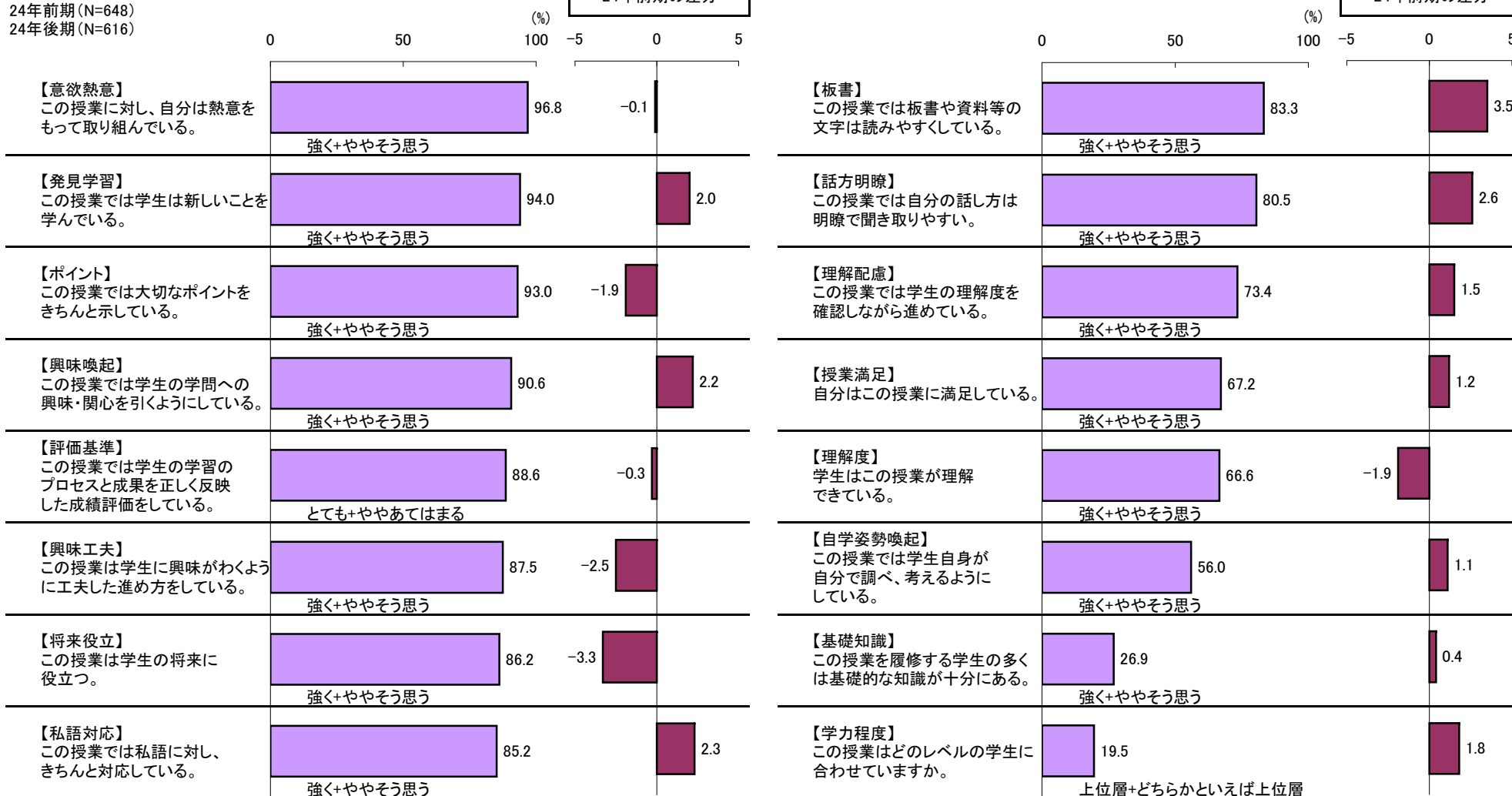
### 【24年後期】

24年前期(N=648)  
24年後期(N=616)

24年後期と  
24年前期の差分

※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

24年後期と  
24年前期の差分



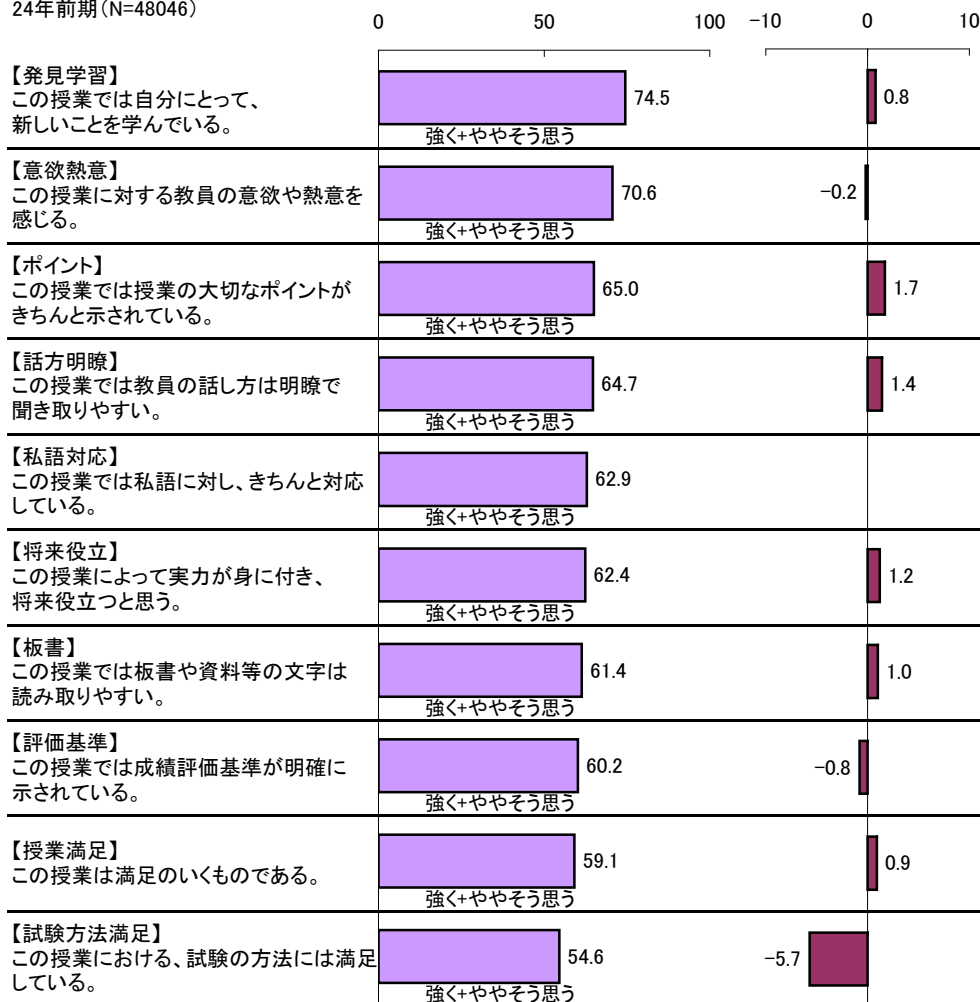
## 4 調査結果のまとめ 学生編 24年前期

授業に対する学生の評価は、「発見学習」「意欲熱意」で特に高い。23年後期と比較すると、「試験方法満足」が約6ポイント、「理解配慮」が約4ポイントの低下。「授業満足度」は横ばいの6割弱であった。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は2ポイント低下し、1割を下回った。それに伴い、「学力程度」「基礎知識」も低下しており、学生自身の自己評価が低くなっている。

### 【24年前期】

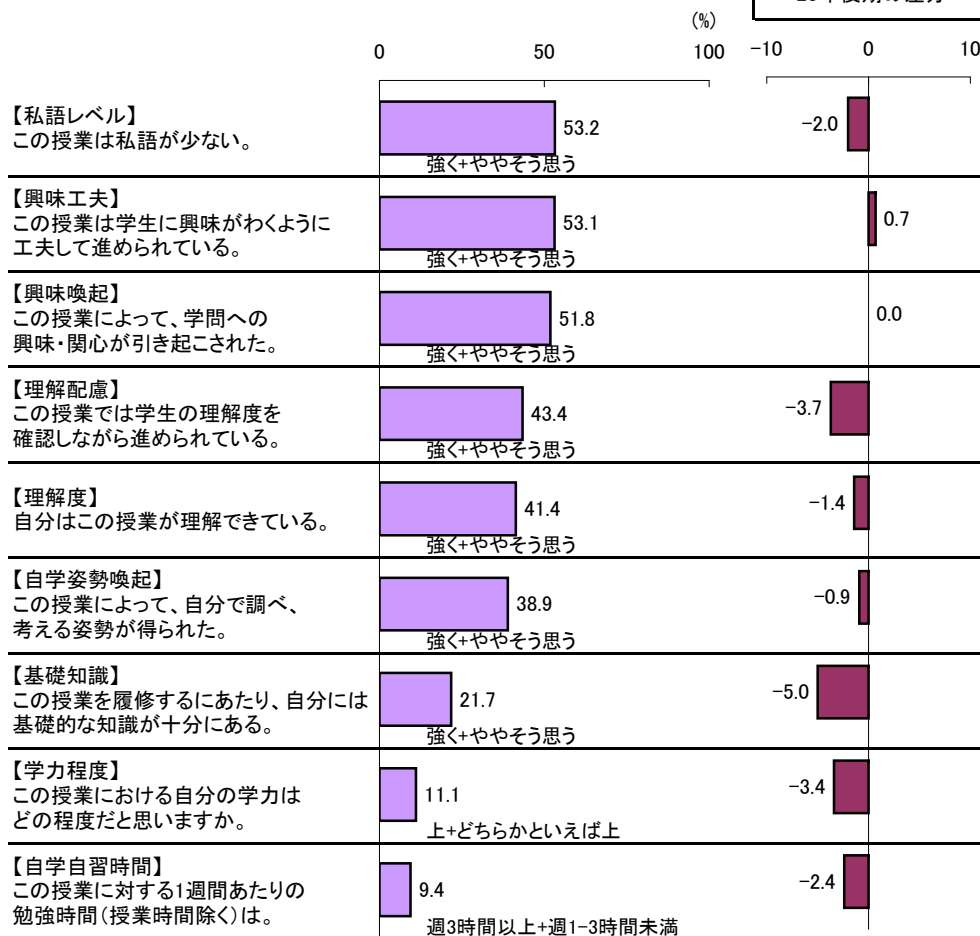
23年後期(N=37551)  
24年前期(N=48046)

24年前期と  
23年後期の差分



※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合 (%)

24年前期と  
23年後期の差分



## 4 調査結果のまとめ 学生編 24年後期

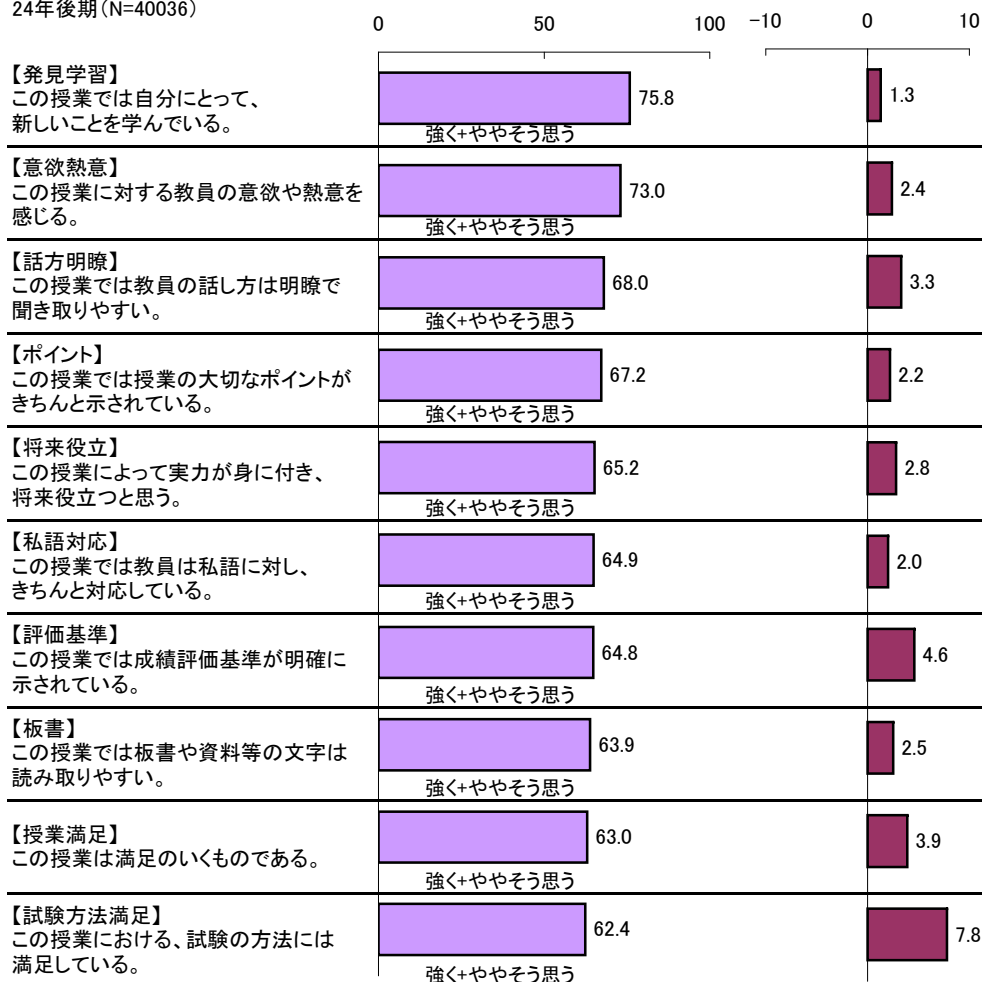
授業に対する学生の評価は、「発見学習」「意欲熱意」で特に高い。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は1割に届かず、「学力程度」が上またはどちらかといえば上とする割合も1割強にとどまる。授業満足度は6割強であった。24年前期と比較すると、「試験方法満足」が約8ポイント、「私語レベル」が7ポイント上昇した。

### 【24年後期】

24年前期 (N=48046)  
24年後期 (N=40036)

(%)

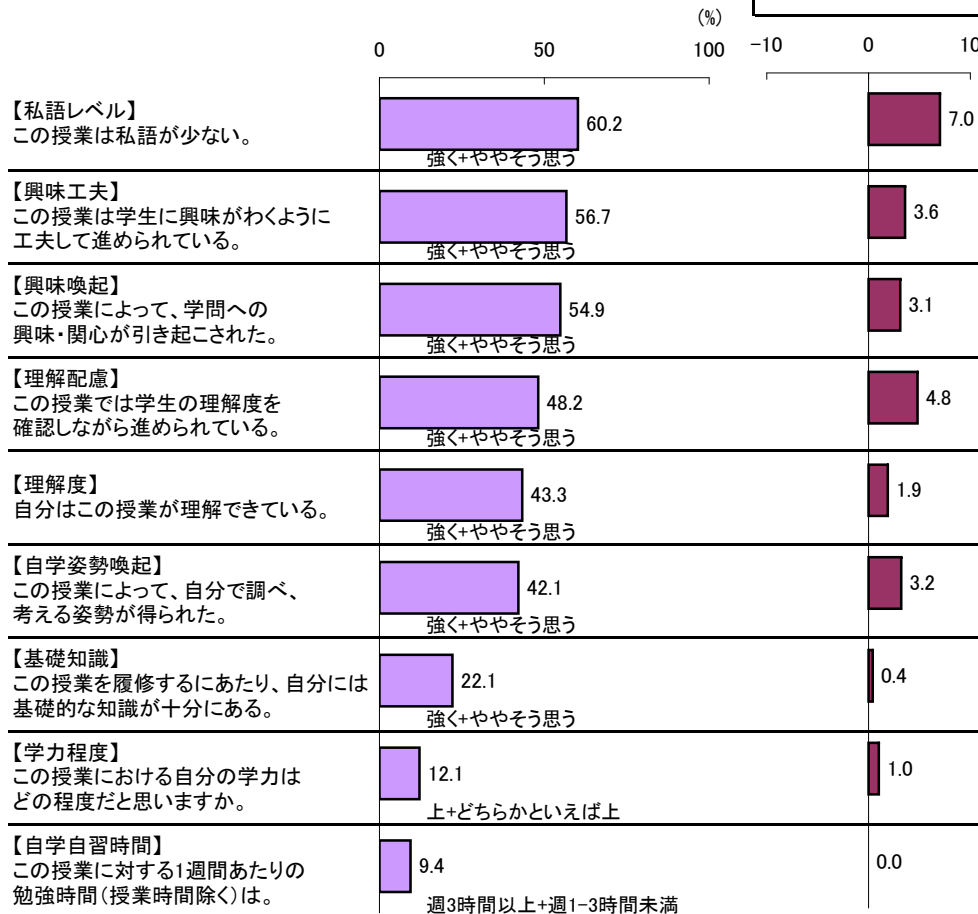
24年後期と  
24年前期の差分



※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合 (%)

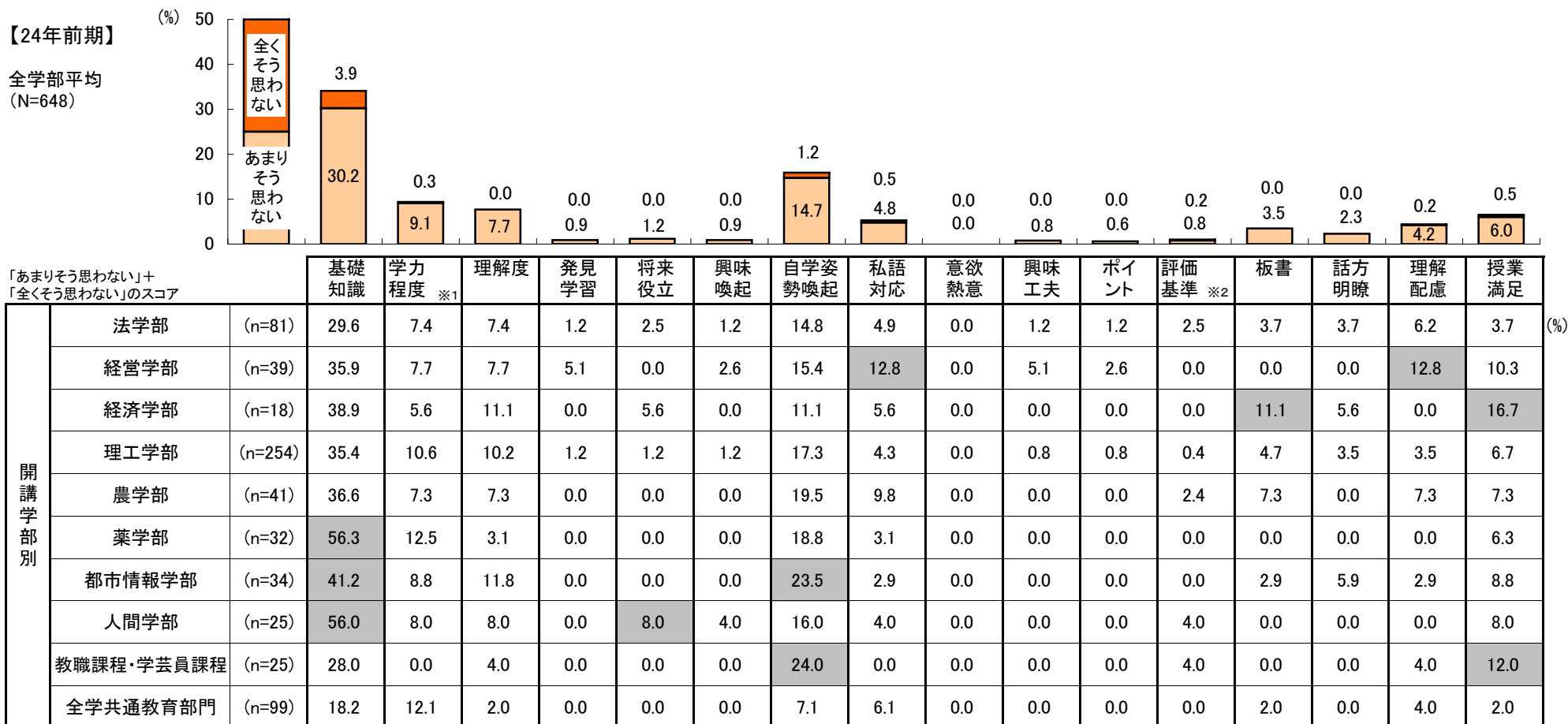
(%)

24年後期と  
24年前期の差分



## 5 学部別改善ポイント 教員編 24年前期

教員の自己評価の結果のうち各質問の「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、学生の「基礎知識」が十分ではないと感じている教員の割合が最も高く、特に薬学部、人間学部、都市情報学部で高い。



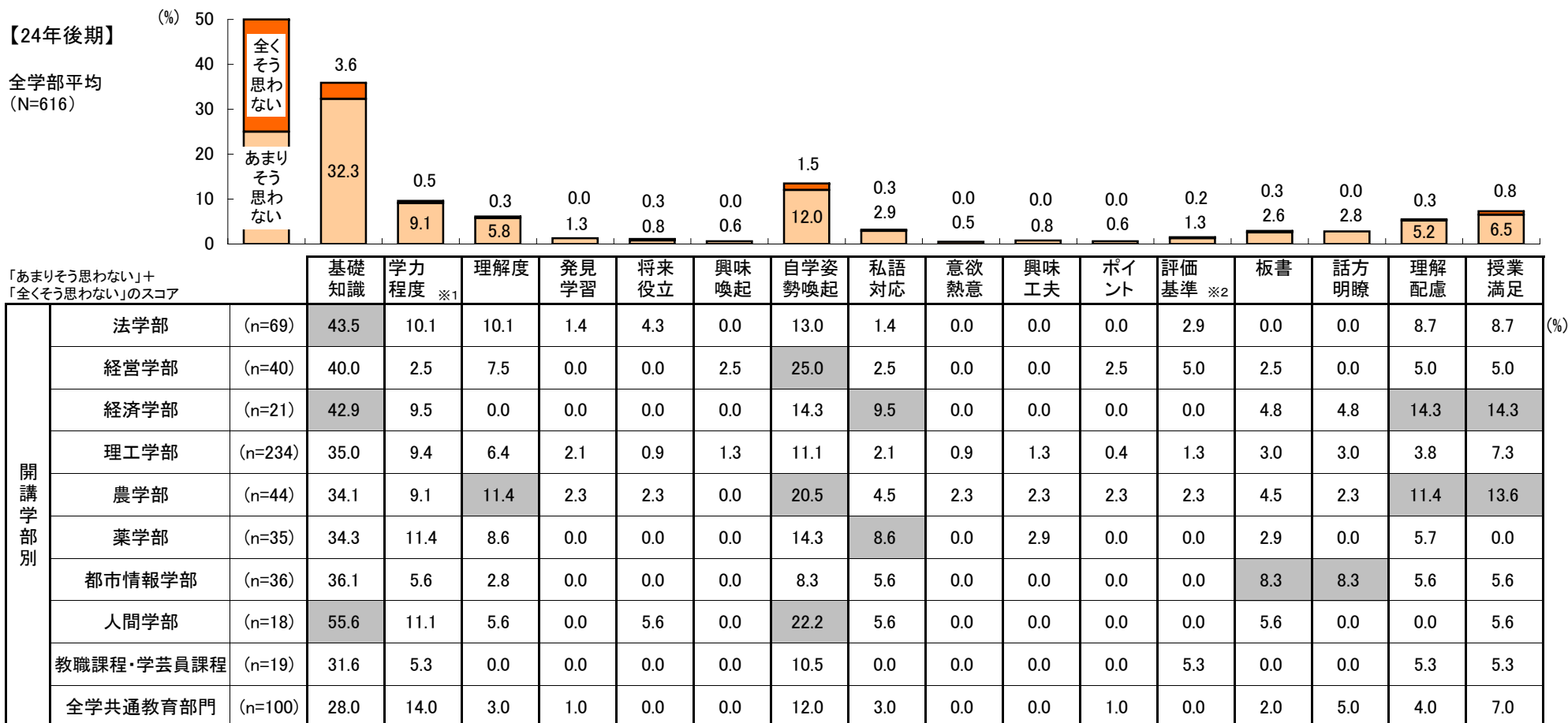
網掛けは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下位層」+「下位層」

※2 「評価基準」のスコアは「あまりあてはまらない」+「全くあてはまらない」

## 5 学部別改善ポイント 教員編 24年後期

教員の自己評価の結果のうち各質問の「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、学生の「基礎知識」が十分ではないと感じている教員の割合が最も高く、特に人間学部、法学部、経済学部で高い。



網掛けは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下位層」+「下位層」

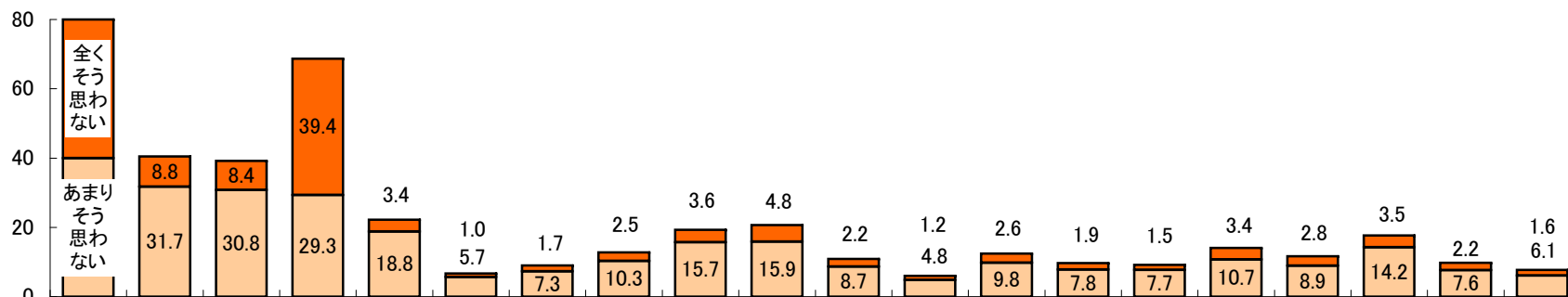
※2 「評価基準」のスコアは「あまりあてはまらない」+「全くあてはまらない」

## 5 学部別改善ポイント 学生編 24年前期

学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、「自学自習時間」「基礎知識」「学力程度」が上位にあげられる。特に自学自習をしていない学生が7割弱と突出し、人間学部では8割を超える。

【24年前期】

全学部平均  
(N=48046)



「あまりそう思わない」+  
「全くそう思わない」のスコア

		基礎知識	学力程度※1	自学自習時間※2	理解度	発見学習	将来役立	興味喚起	自学姿勢喚起	私語レベル	私語対応	意欲熱意	興味工夫	ポイント	評価基準	板書	話方明瞭	理解配慮	授業満足	試験方法満足
開講学部別	法学部 (n=5849)	40.6	39.6	68.6	21.0	7.7	11.4	13.7	20.1	23.4	11.9	6.5	12.6	10.7	11.7	19.0	14.8	19.5	10.0	9.1
	経営学部 (n=3781)	40.4	38.5	78.0	19.0	4.6	5.3	10.2	19.6	17.7	6.8	4.9	11.9	8.6	8.5	13.8	13.9	18.6	9.3	6.5
	経済学部 (n=3255)	45.8	45.3	77.6	27.1	6.9	10.2	14.7	22.4	27.2	11.2	6.3	15.1	11.8	9.7	17.5	16.6	22.5	11.7	8.5
	理工学部 (n=15938)	38.6	38.1	59.3	25.3	7.7	11.5	15.7	19.9	21.6	12.1	7.7	15.0	10.5	9.7	15.5	12.6	18.5	12.0	8.3
	農学部 (n=4055)	42.9	44.4	77.0	24.5	6.0	7.0	11.0	19.1	16.0	10.6	4.6	11.2	10.5	7.0	12.8	10.8	15.0	7.8	6.4
	薬学部 (n=3369)	47.8	48.1	57.0	28.5	4.4	5.0	10.2	18.2	13.2	10.9	6.3	9.9	9.0	10.4	13.0	9.2	15.9	7.2	7.1
	都市情報学部 (n=3316)	36.9	33.4	75.5	18.2	6.2	6.7	10.3	17.4	20.1	9.7	4.8	10.3	6.9	8.2	11.1	7.1	15.9	7.4	8.3
	人間学部 (n=2476)	37.0	31.7	80.9	11.9	5.4	6.3	8.3	17.8	21.2	7.5	2.9	8.2	7.9	6.6	8.6	5.6	15.0	5.8	6.2
	教職課程・学芸員課程 (n=1341)	39.2	28.5	77.9	9.3	4.3	3.9	6.5	12.5	12.7	6.3	2.9	7.2	7.1	9.4	6.7	6.3	11.3	6.1	7.1
	全学共通教育部門 (n=4666)	40.6	39.0	74.4	18.4	7.3	8.4	11.6	19.6	24.1	12.9	5.2	10.1	9.1	8.5	10.2	9.9	16.4	9.5	6.3

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下」+「下」

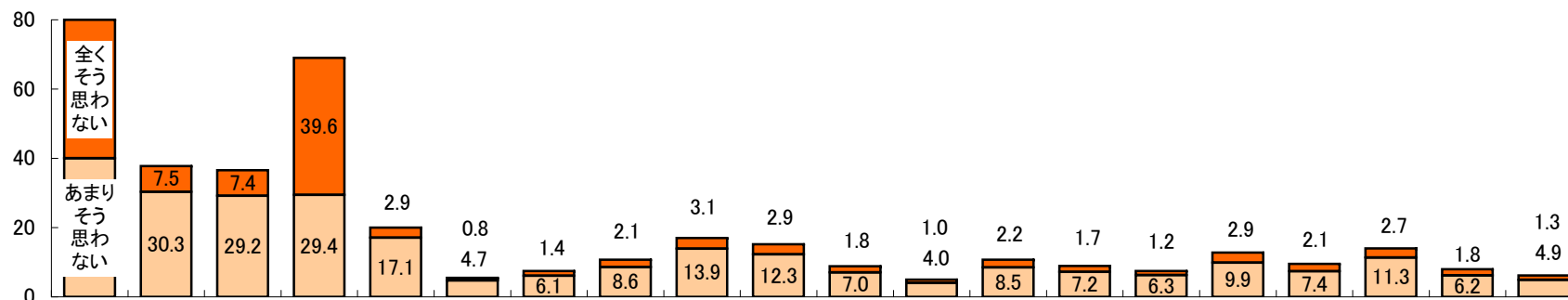
※2 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

## 5 学部別改善ポイント 学生編 24年後期

学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、「自学自習時間」「基礎知識」「学力程度」が上位にあげられる。特に自学自習をしていない学生が7割弱と突出し、人間学部、農学部、経営学部、経済学部では8割前後にのぼる。

【24年後期】

全学部平均  
(N=40036)



「あまりそう思わない」+  
「全くそう思わない」のスコア

開講学部別	人数	「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア																			
		基礎知識	学力程度	自学自習時間	理解度	発見学習	将来役立	興味喚起	自学姿勢喚起	私語レベル	私語対応	意欲熱意	興味工夫	ポイント	評価基準	板書	話方明瞭	理解配慮	授業満足	試験方法満足	
法学部	(n=4278)	38.9	38.1	62.5	18.3	6.9	8.1	11.1	18.1	18.3	9.0	5.6	11.0	8.6	10.2	15.9	13.3	15.3	8.5	7.2	
経営学部	(n=3218)	36.1	33.3	78.5	15.4	5.4	7.1	10.4	20.4	17.1	9.7	5.3	13.0	10.2	8.7	10.7	9.0	16.0	7.9	6.7	
経済学部	(n=2265)	40.4	38.6	77.3	21.5	4.9	8.2	11.2	17.7	15.5	7.3	4.8	12.7	9.4	7.6	13.4	9.9	15.1	9.1	6.5	
理工学部	(n=13054)	37.0	35.2	61.5	23.4	6.3	9.6	13.3	17.6	16.6	9.7	6.4	12.5	8.9	7.3	14.1	10.2	14.7	9.4	6.7	
農学部	(n=3954)	40.6	43.7	79.1	23.5	4.0	6.6	9.1	16.9	12.0	9.7	4.7	11.2	12.8	6.2	14.1	12.1	16.1	8.8	5.7	
薬学部	(n=4033)	41.3	47.7	63.9	26.2	5.3	3.5	9.2	14.0	8.3	6.1	4.5	8.9	6.7	6.5	12.6	8.1	11.1	5.5	4.0	
都市情報学部	(n=2561)	31.2	25.7	70.8	11.9	4.4	5.9	9.5	16.4	15.7	9.0	4.4	8.6	7.3	7.3	11.4	6.5	13.4	6.1	6.3	
人間学部	(n=1614)	35.1	31.4	81.9	10.8	3.6	5.9	6.9	16.5	18.9	5.7	2.2	6.6	6.9	5.0	4.5	2.6	9.9	5.5	5.8	
教職課程・学芸員課程	(n=778)	38.8	30.5	75.5	9.4	4.1	4.2	6.0	9.4	13.4	8.0	3.5	7.7	10.0	10.2	8.7	7.7	10.7	6.6	5.0	
全学共通教育部門	(n=4281)	38.1	33.5	74.9	14.9	5.4	7.1	7.7	16.1	14.0	8.5	3.0	7.5	7.3	7.1	10.3	7.2	11.8	6.7	5.4	

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下」+「下」

※2 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

学生への設問の中で教員自身が改善できると考えられる13項目について、授業満足度への全体影響度と不満度から改善要求度を算出した。結果、「学生の理解度を確認しながら進めてほしい」「学生に興味がわくように工夫して進めてほしい」に関して改善要求度が高いことがわかった。

### 全体影響度

「全体影響度」とは、**学生の授業満足度への影響の強さ**を数値で表したものです。学生アンケート設問項目「この授業は満足のものである」と各質問項目の連関係数です。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全科目で算出しています。

### 不満度

不満度とは、各設問項目において、**学生の不満感の大きさ**を数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強くそう思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

### 改善要求度

改善要求度とは、各設問の評価「全体影響度」と「不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。改善要求度は、値が高いほど改善が求められています。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

「改善要求度」は、大学全体で算出した「全体影響度」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	24年前期			24年後期		
	全体影響度	不満度	改善要求度	全体影響度	不満度	改善要求度
5.この授業では自分にとって、新しいことを学んでいる	0.27	0.30	16.1	0.28	0.30	16.3
6.この授業によって実力が身に付き、将来役立つと思う	0.36	0.36	26.1	0.37	0.35	25.5
7.この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	0.42	0.42	34.9	0.44	0.40	34.7
8.この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた	0.31	0.48	28.9	0.33	0.47	29.6
9.この授業は私語が少ない	0.18	0.41	14.5	0.19	0.37	13.5
10.この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している	0.25	0.35	16.7	0.25	0.33	16.2
11.この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	0.41	0.31	25.1	0.42	0.30	24.4
12.この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている	0.51	0.40	40.2	0.52	0.39	38.6
13.この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	0.46	0.35	31.9	0.47	0.34	30.9
14.この授業では成績評価基準が明確に示されている	0.34	0.36	24.3	0.36	0.34	23.7
15.この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	0.36	0.36	25.7	0.36	0.35	24.6
16.この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	0.43	0.34	29.1	0.45	0.33	28.2
17.この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	0.50	0.45	44.2	0.50	0.43	41.5
全体影響度の最大値	0.51			0.52		



## 6 授業満足度から見た授業改善項目（全学）

[学生]

学生による改善要求度は「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」で高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。一方、「私語レベル」「私語対応」「発見学習」への改善要求度は低い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

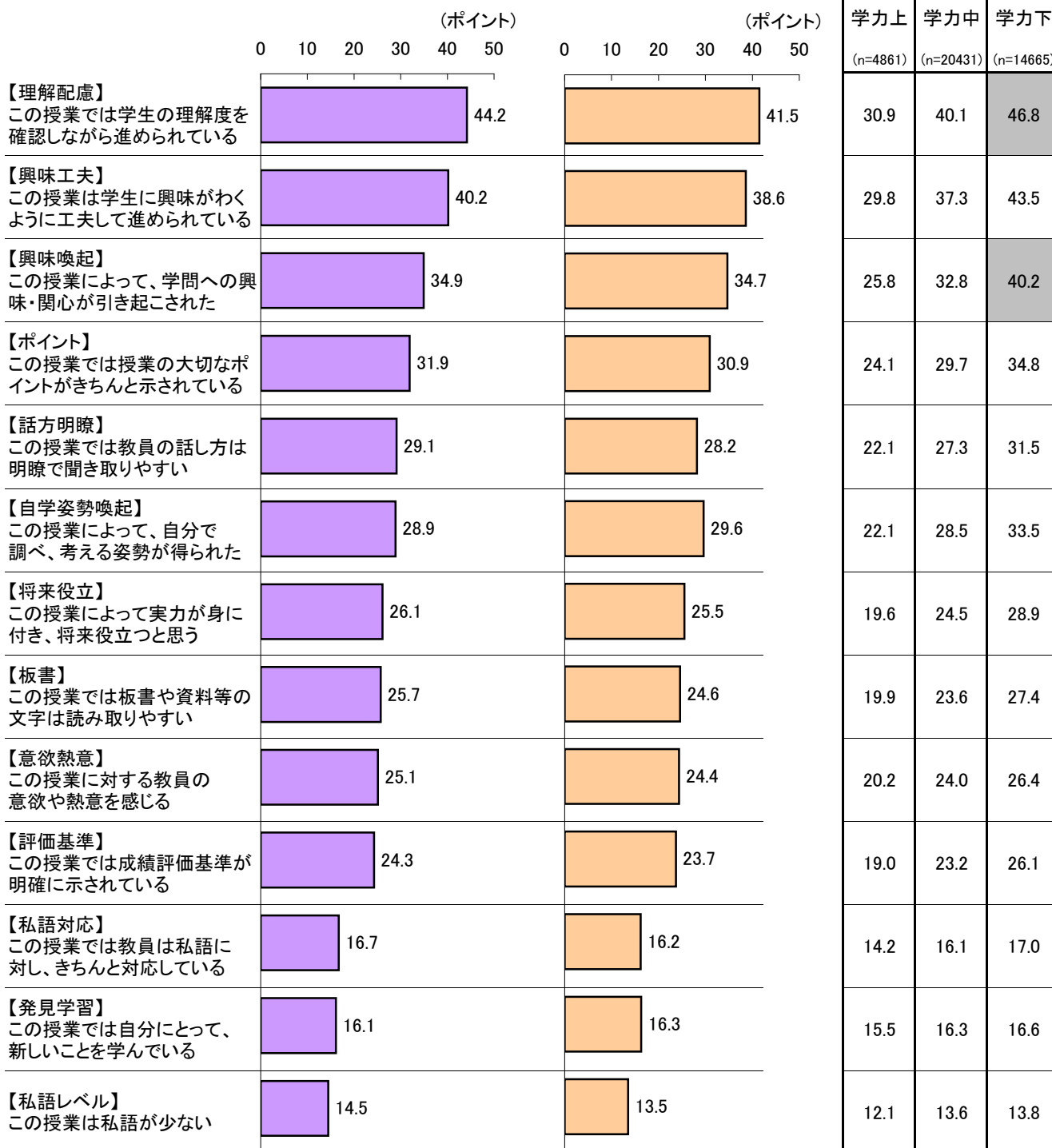
### <改善要求度の高い項目>

#### 【全学部平均】

24年前期 (N=48046)

24年後期 (N=40036)

24年後期学力程度別



(ポイント)

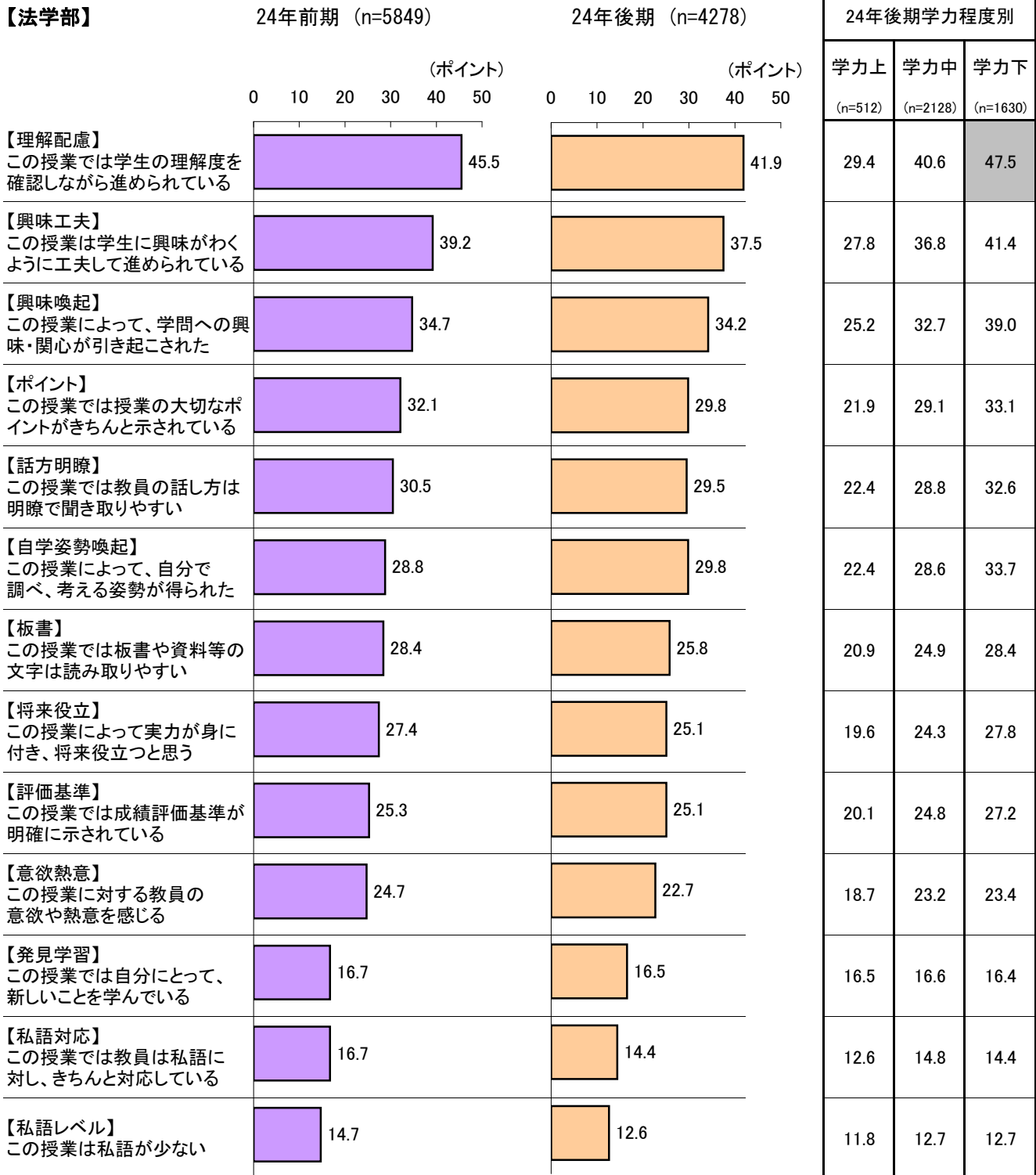
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（法学部）

[学生]

法学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

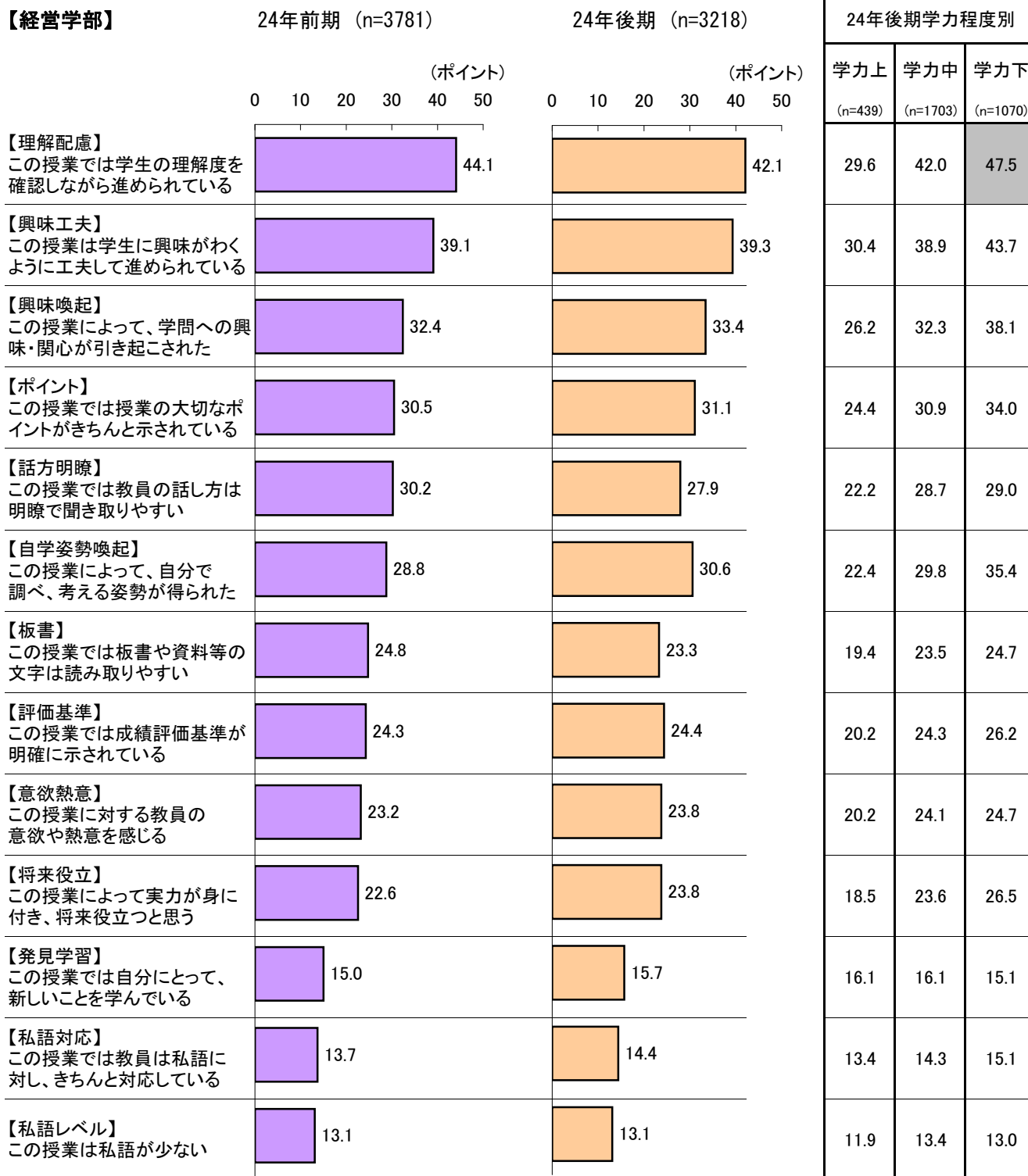
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（経営学部）

[学生]

経営学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、「理解配慮」「話方明瞭」で改善要求度が低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

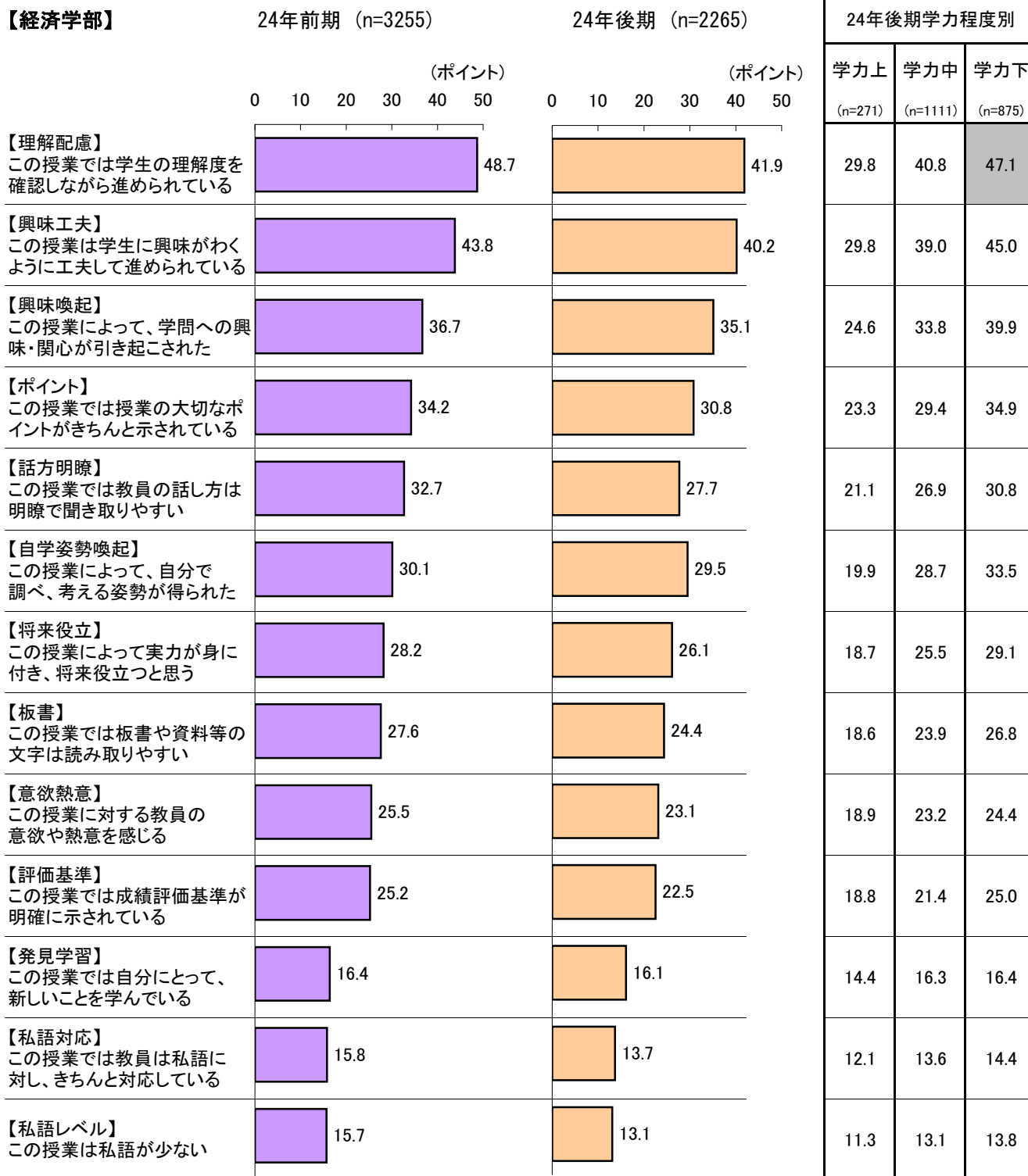
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（経済学部）

[学生]

経済学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

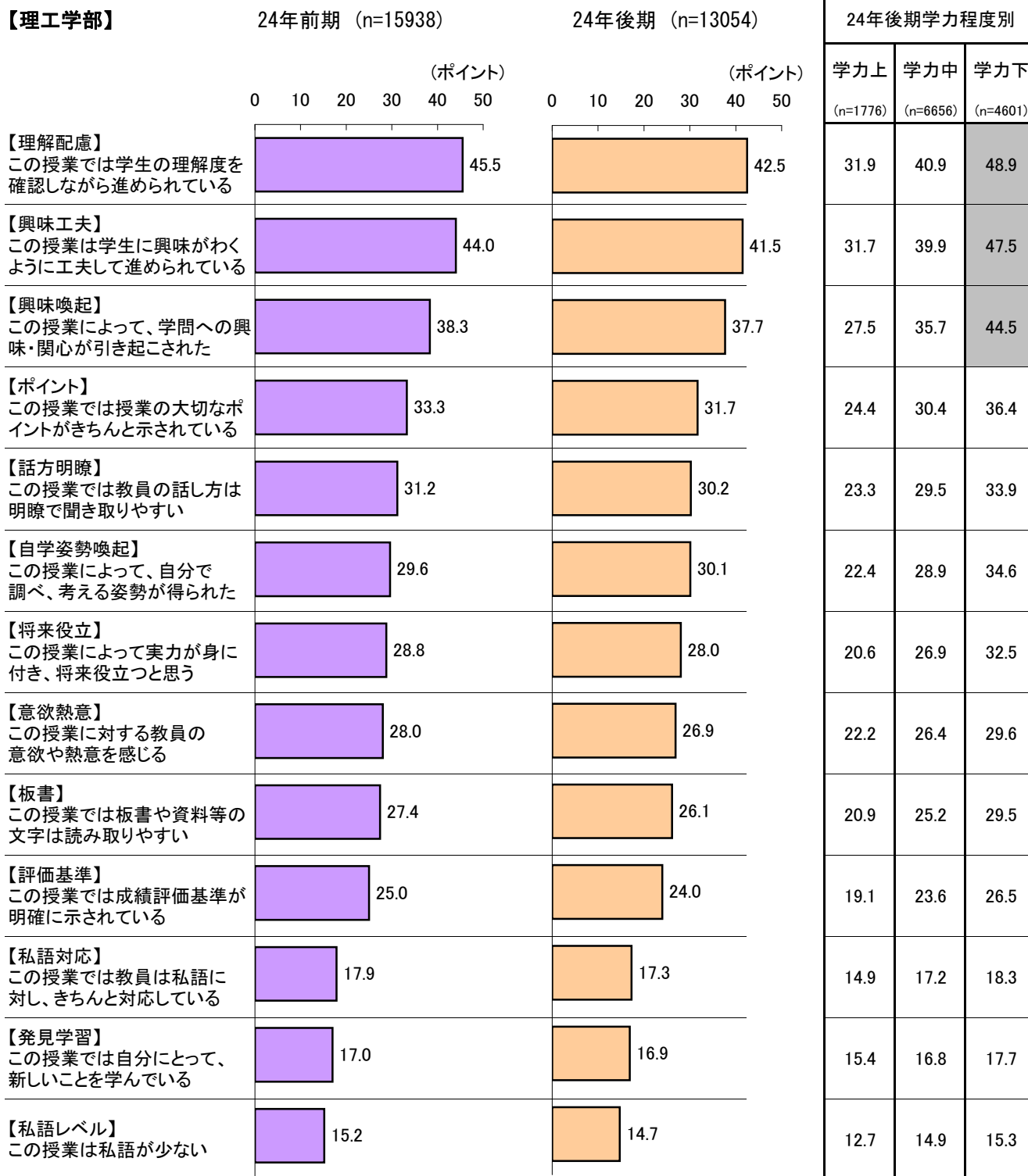
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（理工学部）

[学生]

理工学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

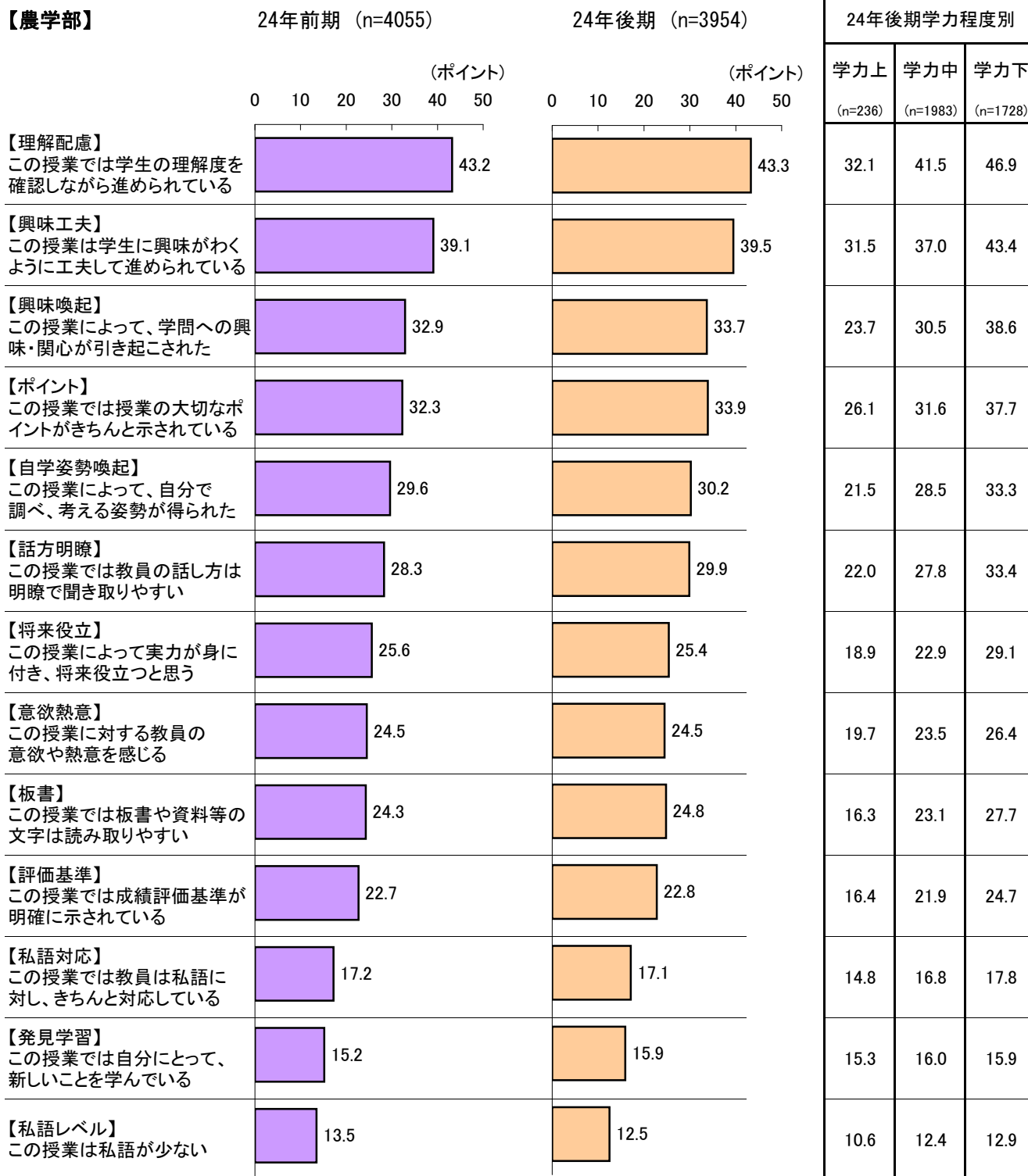
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（農学部）

[学生]

農学部では「理解配慮」「興味工夫」「ポイント」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的にやや高め。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

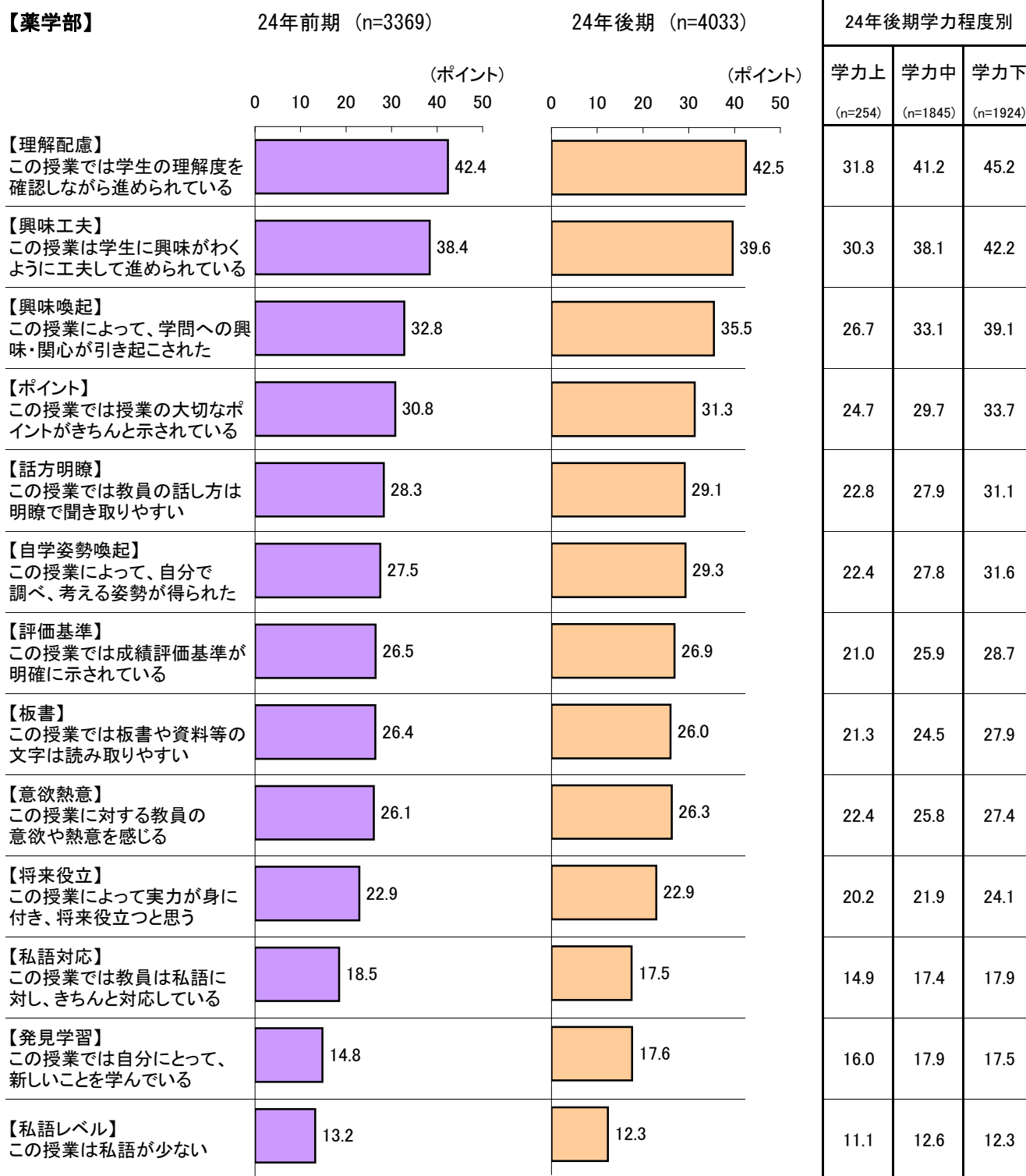
\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（薬学部）

[学生]

薬学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に高い。

### <改善要求度の高い項目>



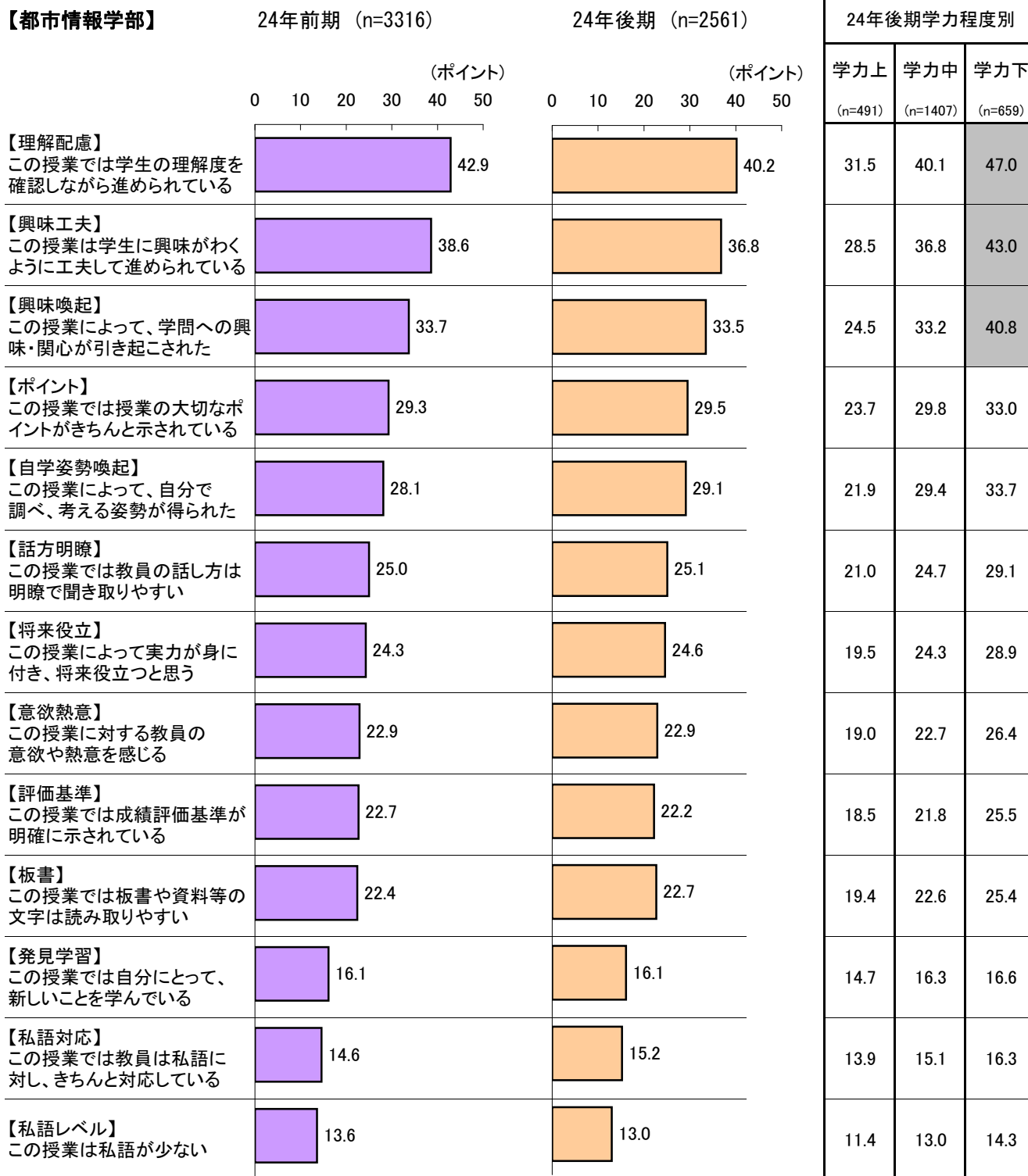
(ポイント)

\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（都市情報学部） [学生]

都市情報学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、「理解配慮」「興味工夫」で改善要求度が低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

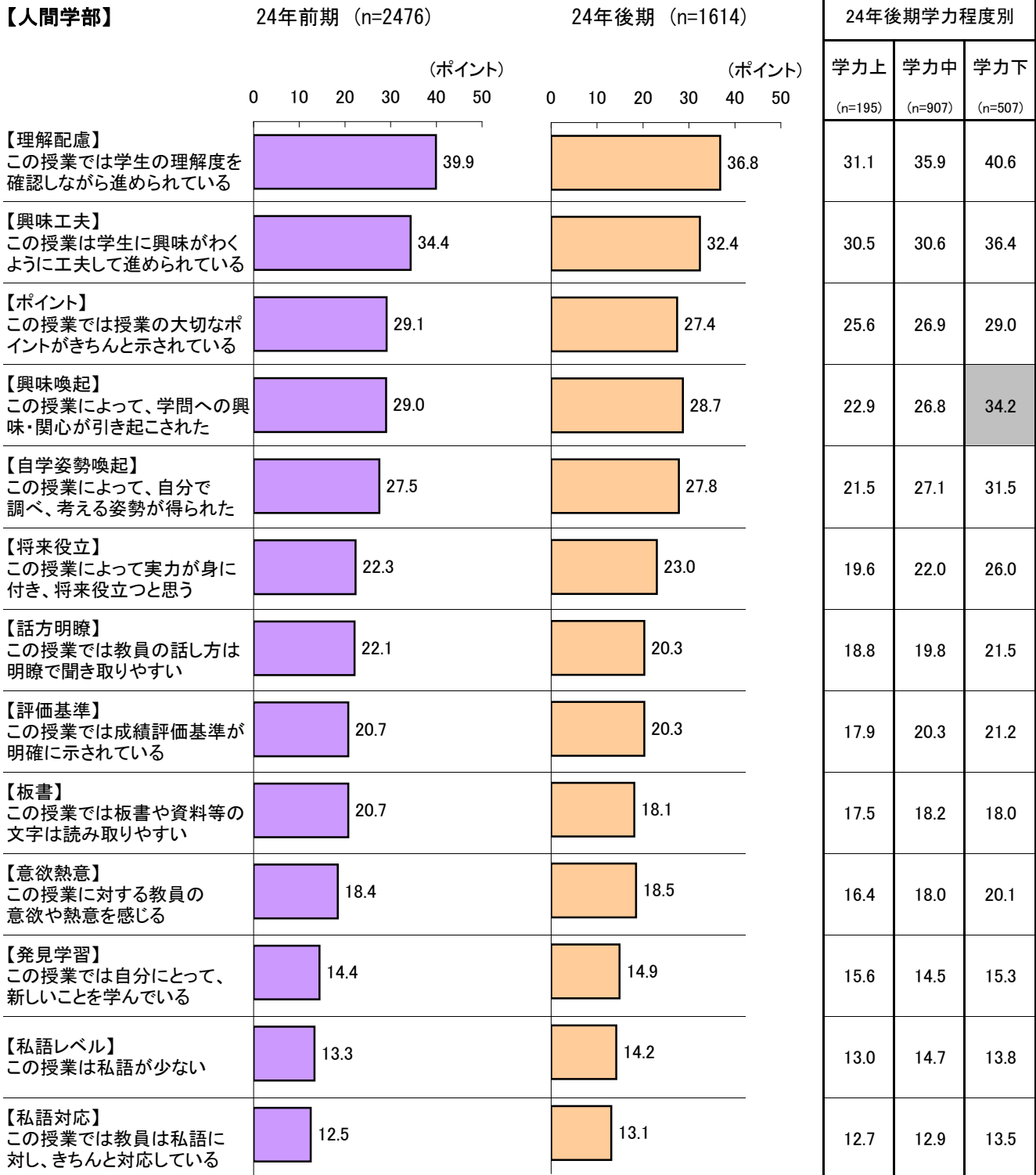


## 6 授業満足度から見た授業改善項目（人間学部）

[学生]

人間学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>



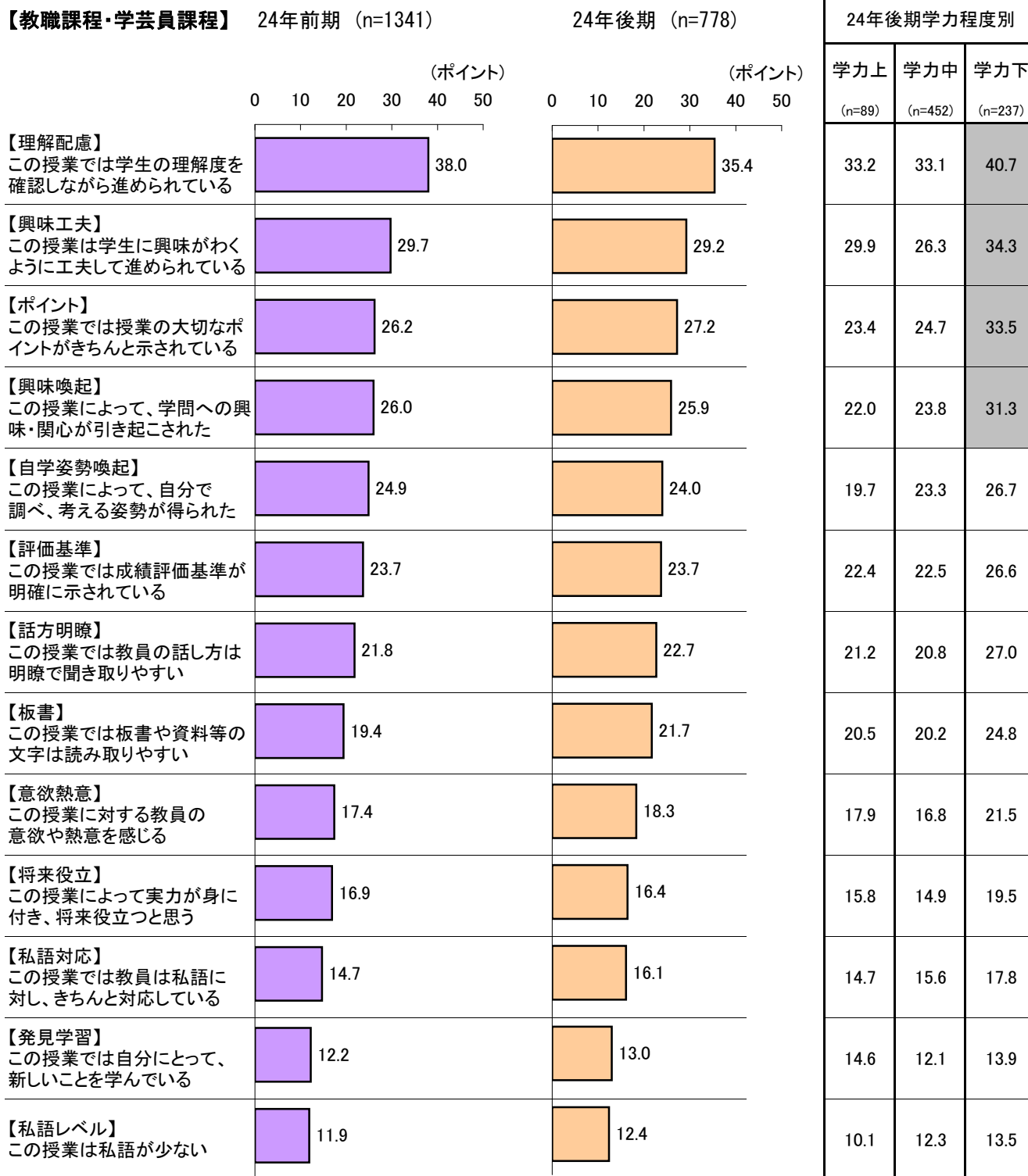
(ポイント)

\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（教職課程・学芸員課程） [学生]

教職課程・学芸員課程では「理解配慮」「興味工夫」「ポイント」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は「理解配慮」で低いが、「板書」で高い。

### <改善要求度の高い項目>



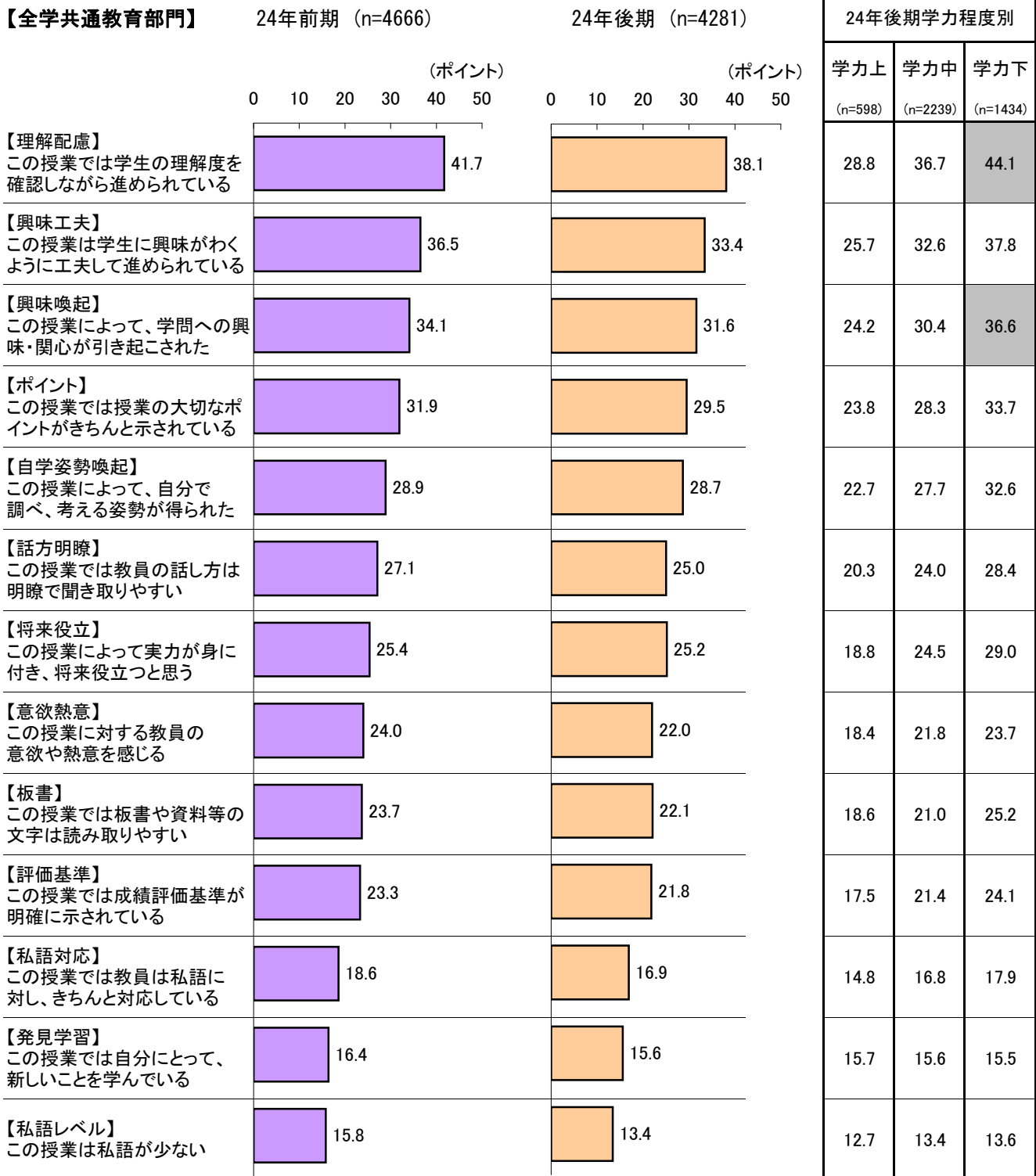
(ポイント)

\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（全学共通教育部門） [学生]

全学共通教育部門では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。24年前期と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>



(ポイント)

\* 24年後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

# 7 学生と教員の授業満足度の関係 (授業プロット)

[授業]

学生の授業満足度と教員の授業満足度の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットした。学生、教員とも授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は、前期、後期ともに全体の4割弱。  
 教員の授業満足度別に学生満足度をみると、教員が満足している授業は学生の満足度も高くなる傾向にある。

## <学生授業満足度×教員授業満足度>

授業ベース

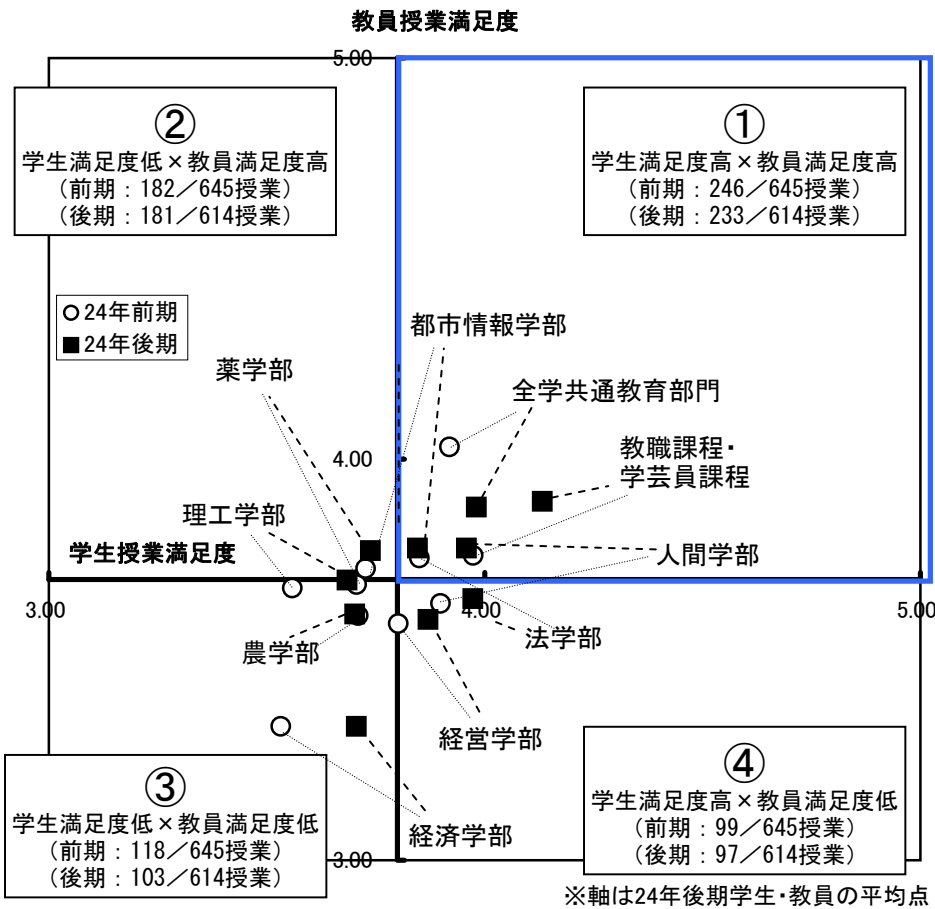
「学生設問 Q18. この授業は満足いくものである。」

「教員設問 Q16. 自分はこの授業に満足している。」

の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットした。

集計対象は学生と教員のデータがどちらも存在し、教員調査の「Q16. 授業満足」に回答のある授業とした。

(24年前期645授業、24年後期614授業)



## 【象限①学生満足度高×教員満足度高】

24年前期

24年前期		%
全体	(n=645)	38.1
開講学部別	法学部	(n=81) 48.1
	経営学部	(n=39) 33.3
	経済学部	(n=18) 22.2
	理工学部	(n=252) 24.6
	農学部	(n=41) 29.3
	薬学部	(n=32) 40.6
	都市情報学部	(n=33) 45.5
	人間学部	(n=25) 52.0
	教職課程・学芸員課程	(n=25) 56.0
	全学共通教育部門	(n=99) 61.6

24年後期

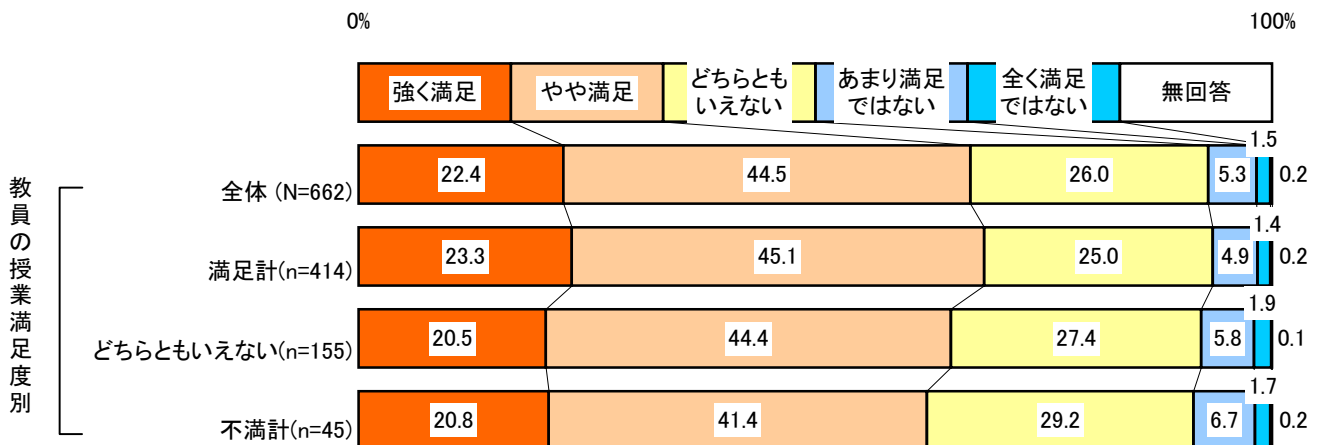
24年後期		%
全体	(n=614)	37.9
開講学部別	法学部	(n=69) 47.8
	経営学部	(n=40) 32.5
	経済学部	(n=21) 28.6
	理工学部	(n=232) 31.5
	農学部	(n=44) 31.8
	薬学部	(n=35) 31.4
	都市情報学部	(n=36) 38.9
	人間学部	(n=18) 55.6
	教職課程・学芸員課程	(n=19) 68.4
	全学共通教育部門	(n=100) 46.0

※軸は24年後期学生・教員の平均点

## <24年後期 教員の授業満足度別にみた学生の授業満足>

※グラフは24年後期のスコア

授業ベース



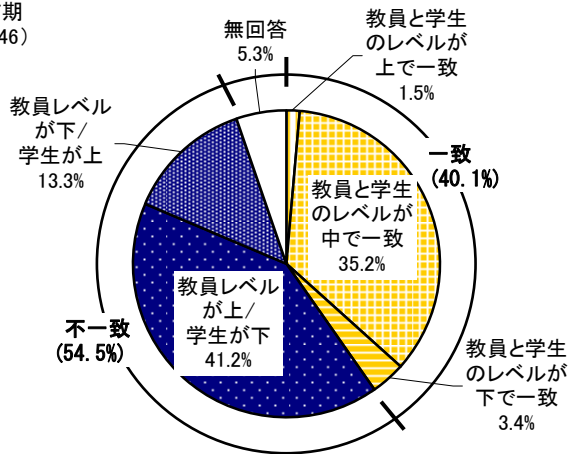
# 8 教員と学生の対象レベルの一致

[教員] [学生]

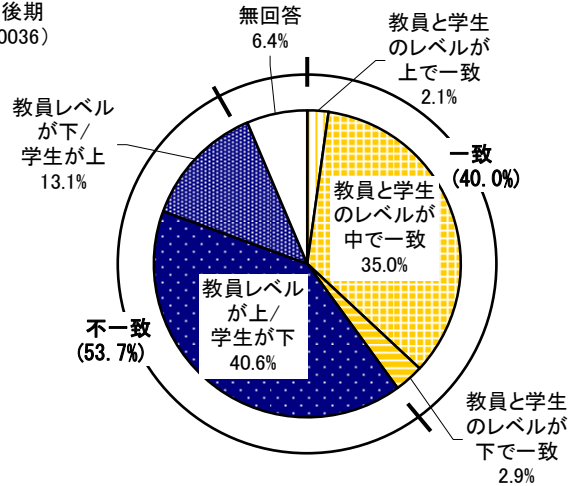
教員が想定する学生の学力レベルと学生が自ら感じている自分の学力レベル(自己評価)との関連を調べた。それぞれのレベルが一致するのは4割の授業であり、一致しない授業が半数を超え、教員が想定する学生の学力レベルより、学生が自ら感じている自分の学力レベルが低い場合が4割を超える。なお、2%の割合だが「両者のレベルが上で一致」した場合の満足度が最も高い。

「教員設問 Q2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。」  
 「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」  
 について、一致度合いを確認した。

24年前期 (N=48046)

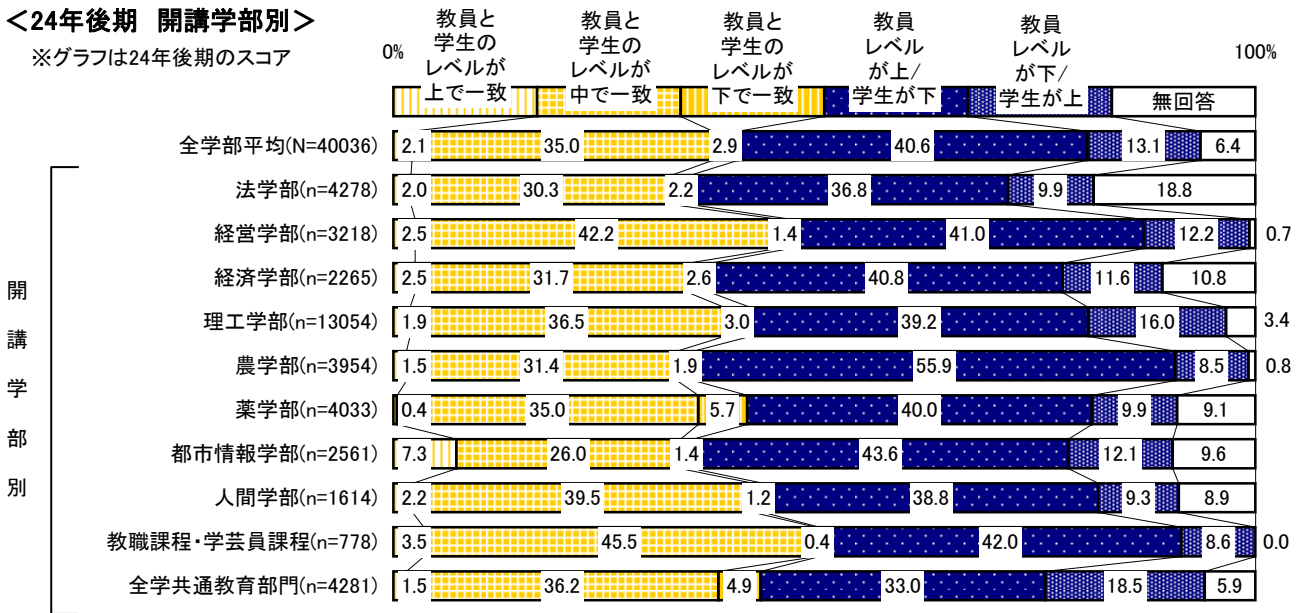


24年後期 (N=40036)



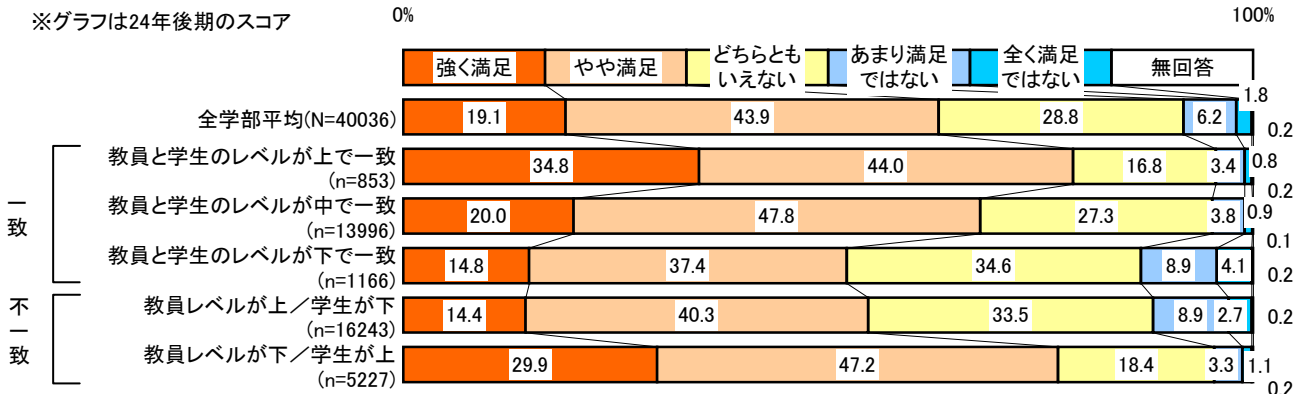
## <24年後期 開講学部別>

※グラフは24年後期のスコア



## <24年後期 授業満足度との関係>

※グラフは24年後期のスコア



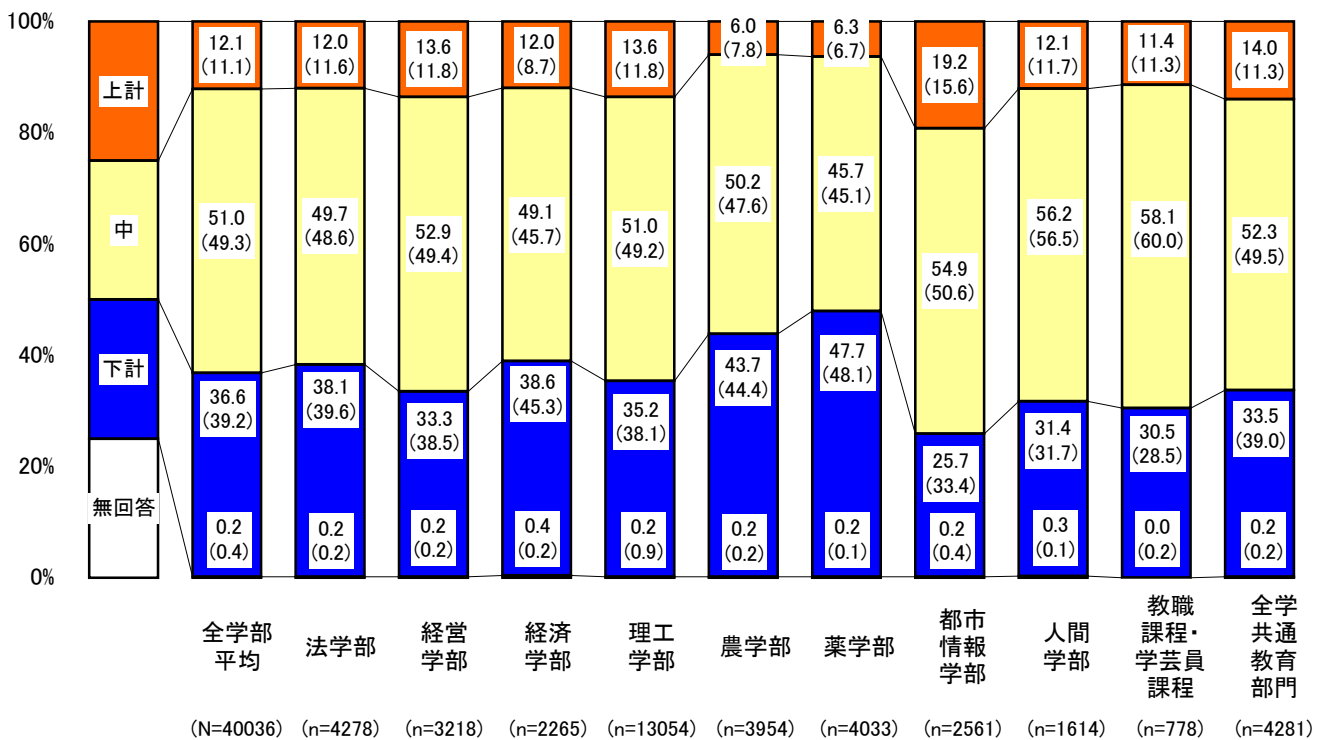
# 9 学力程度別の授業満足度

[学生]

学生の学力の自己評価と授業満足度の関連について調べた。学生の自己評価が「上」の学生ほど満足度は高く、8割以上が授業に満足している。一方、自己評価が「下」の学生ほど満足度が低くなる傾向にあり、「授業に満足している」と回答した学生は5割程度にとどまる。

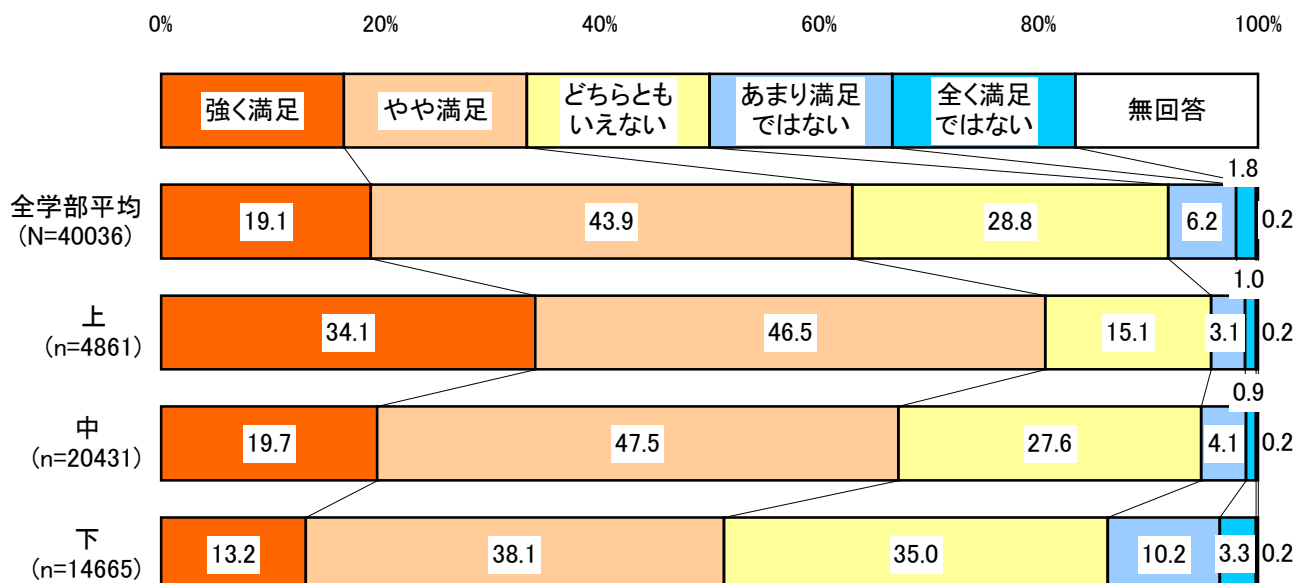
学生の学力を聞いた、「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」についての回答をもとに学力を上、中、下に分類した。  
各学カレベル別に授業満足度がどの程度変化があるのか確認する。

## <学カレベルの分布> ( )内は、24年前期のスコア



## <24年後期 学カレベル別満足度>

※グラフは24年後期のスコア



# 10 自学自習時間と授業満足度の関係（1）

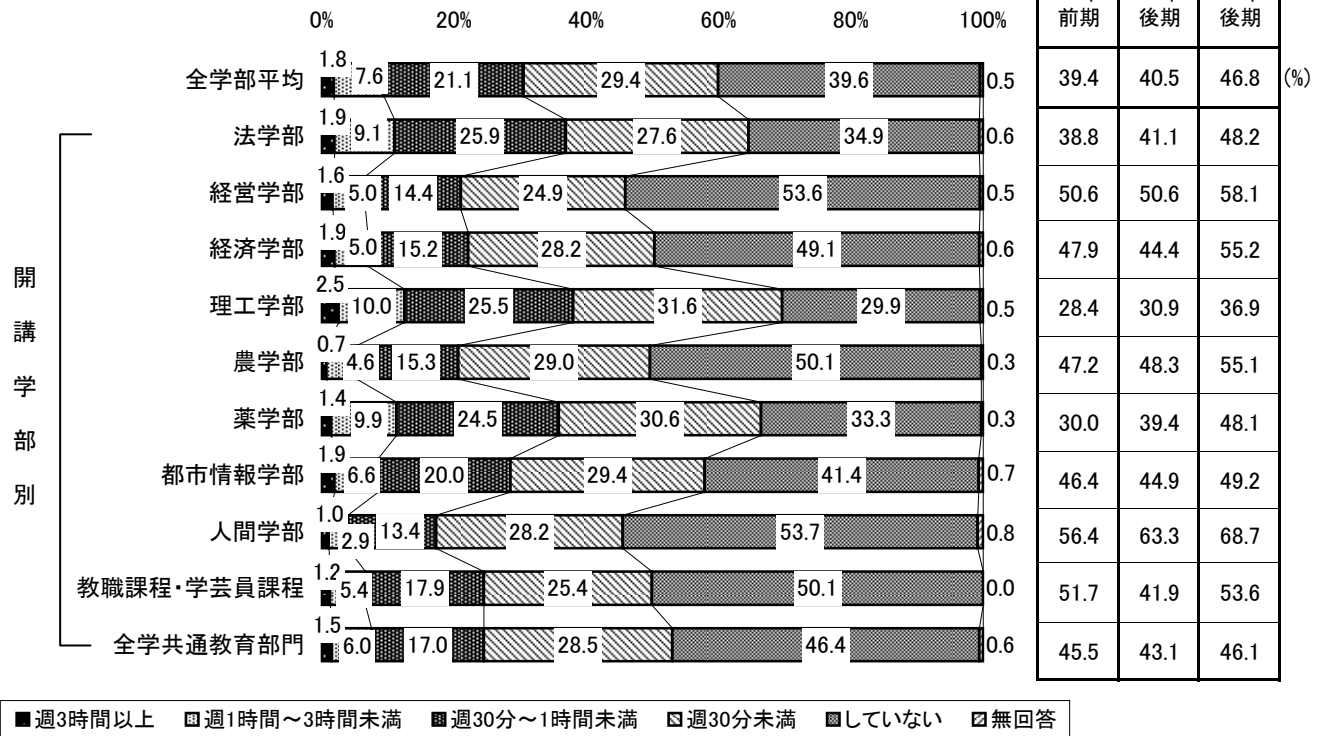
[学生]

自学自習時間と授業満足度との関係を各学部別に確認した。  
 自学自習をしていない学生が約4割を占めるが、理工学部ではその割合が最も低い。  
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられるが、農学部、教職課程・学芸員課程では「週3時間以上」勉強している学生の満足度が低下している。

Q3. この授業に対する1週間あたりの勉強時間（授業時間除く）は。

<24年後期 開講学部別自学自習時間>

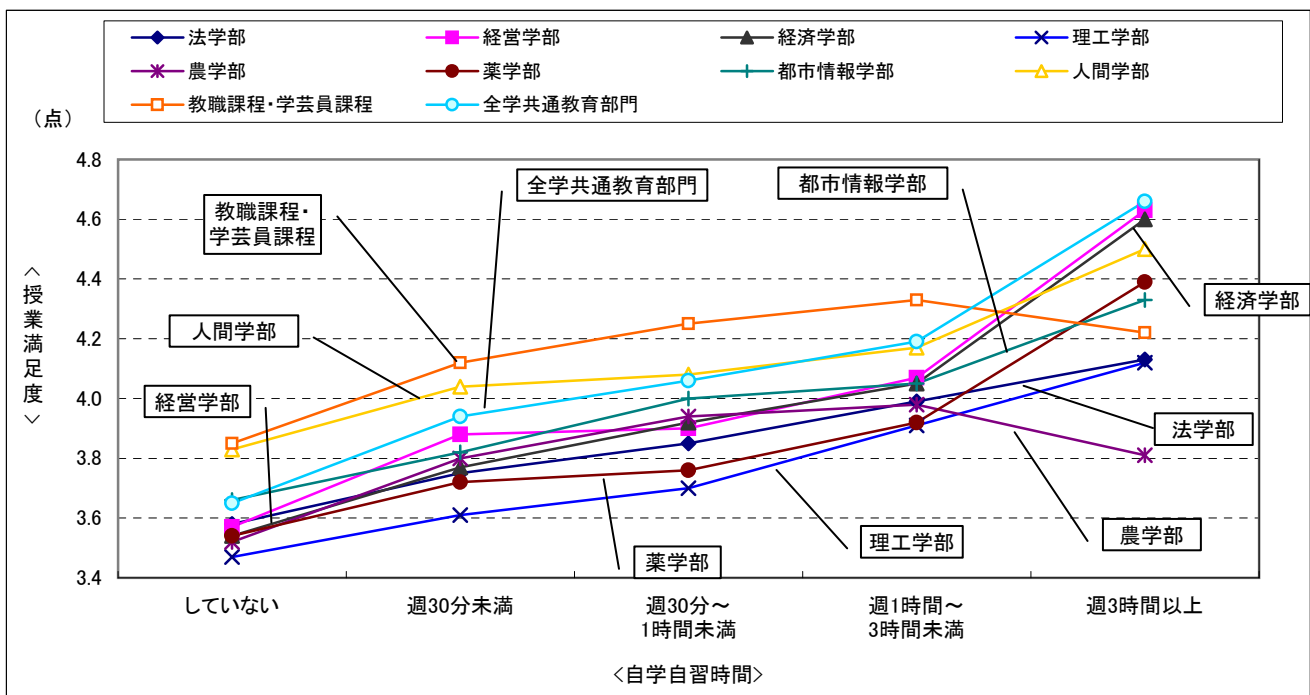
※グラフは24年後期のスコア



Q18. この授業は満足のものである。

<24年後期 授業満足度との関係>

※グラフは24年後期のスコア



# 10 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット）[授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を平面上に各授業をプロットした。  
 自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は24年前期と比較すると大きな変化はない。

## <自学自習時間×授業満足度>

24年後期

象限	授業数(662授業)	
①	157	23.7
②	114	17.2
③	183	27.6
④	208	31.4%

24年前期

象限	授業数(684授業)	
①	147	21.5
②	124	18.1
③	194	28.4
④	219	32.0%

23年後期

象限	授業数(641授業)	
①	149	23.2
②	124	19.3
③	178	27.8
④	190	29.6%

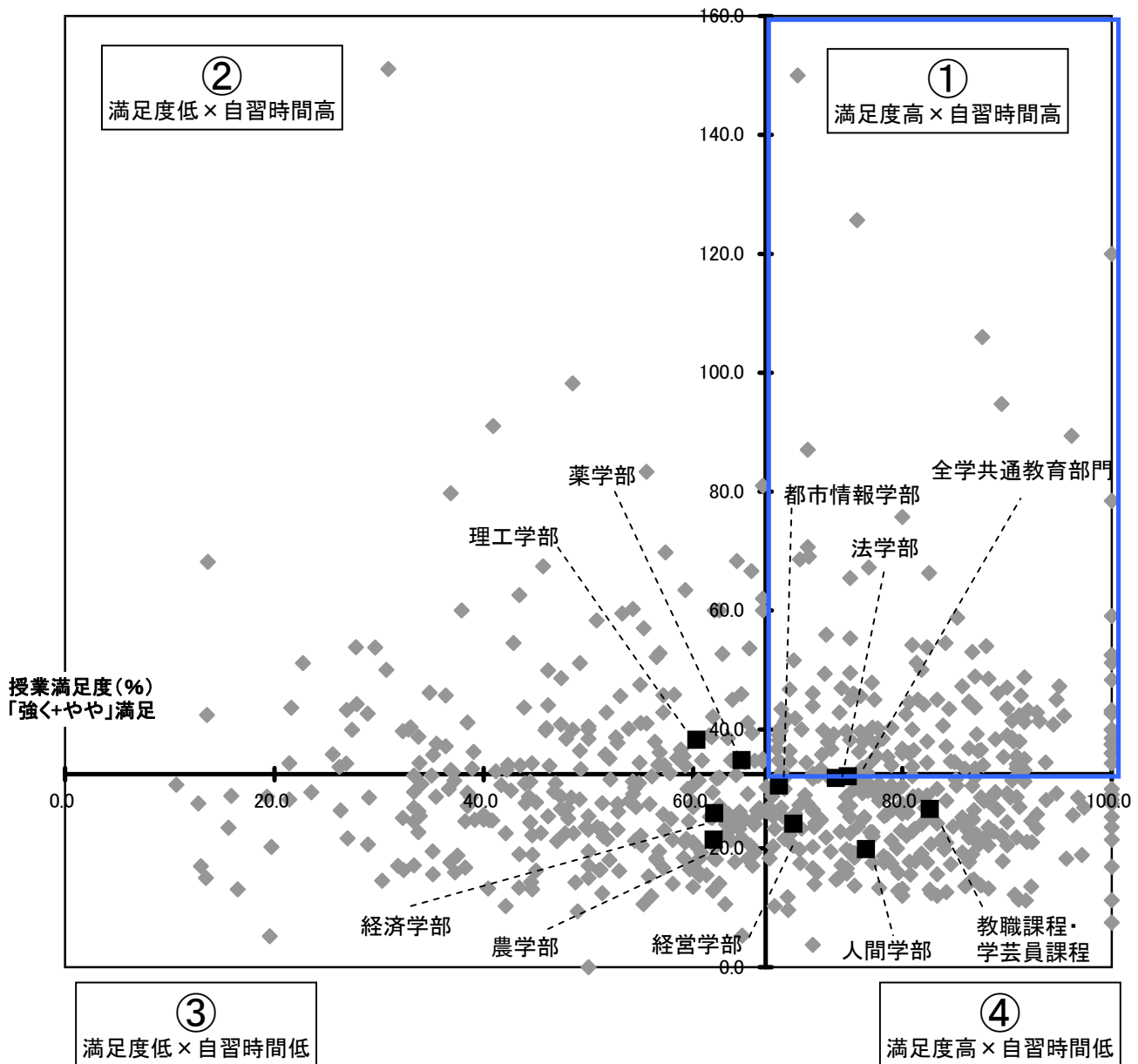
22年後期

象限	授業数(630授業)	
①	140	22.2
②	117	18.6
③	197	31.3
④	176	27.9%

## 【24年後期】

※グラフは24年後期のスコア

自学自習時間(分)



※軸は授業満足度(「強+やや」)・自学自習時間の平均



# 10 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット） [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部は、薬学部、全学共通教育部門。教職課程・学芸員課程は①象限の授業が24年前期よりも10ポイント以上増加した。農学部、人間学部、経済学部、経営学部は①象限の授業が1割に届かない。

## <自学自習時間×授業満足度>

### 【全学部平均】

象限	24年後期 (662授業)	24年前期 (684授業)	23年後期 (641授業)	22年後期 (630授業)
①	23.7	21.5	23.2	22.2
②	17.2	18.1	19.3	18.6
③	27.6	28.4	27.8	31.3
④	31.4	32.0	29.6	27.9

### 【法学部】

象限	24年後期 (80授業)	24年前期 (89授業)	23年後期 (88授業)	22年後期 (102授業)
①	31.3	22.5	25.0	23.5
②	11.3	14.6	14.8	14.7
③	13.8	22.5	20.5	23.5
④	43.8	40.4	39.8	38.2

### 【薬学部】

象限	24年後期 (39授業)	24年前期 (35授業)	23年後期 (36授業)	22年後期 (37授業)
①	38.5	34.3	27.8	13.5
②	15.4	20.0	8.3	13.5
③	28.2	20.0	36.1	35.1
④	17.9	25.7	27.8	37.8

### 【経営学部】

象限	24年後期 (41授業)	24年前期 (39授業)	23年後期 (39授業)	22年後期 (38授業)
①	9.8	12.8	15.4	10.5
②	2.4	2.6	2.6	2.6
③	41.5	43.6	41.0	57.9
④	46.3	41.0	41.0	28.9

### 【都市情報学部】

象限	24年後期 (40授業)	24年前期 (37授業)	23年後期 (37授業)	22年後期 (34授業)
①	20.0	10.8	29.7	17.6
②	20.0	8.1	13.5	17.6
③	30.0	43.2	24.3	32.4
④	30.0	37.8	32.4	32.4

### 【経済学部】

象限	24年後期 (24授業)	24年前期 (22授業)	23年後期 (23授業)	22年後期 (21授業)
①	8.3	0.0	8.7	0.0
②	4.2	9.1	13.0	14.3
③	58.3	59.1	52.2	57.1
④	29.2	31.8	26.1	28.6

### 【人間学部】

象限	24年後期 (19授業)	24年前期 (28授業)	23年後期 (27授業)	22年後期 (22授業)
①	5.3	14.3	7.4	9.1
②	0.0	0.0	0.0	4.5
③	15.8	21.4	25.9	36.4
④	78.9	64.3	66.7	50.0

### 【理工学部】

象限	24年後期 (245授業)	24年前期 (262授業)	23年後期 (257授業)	22年後期 (258授業)
①	24.1	23.3	26.1	27.5
②	31.0	33.2	33.9	29.1
③	26.5	27.5	24.1	29.1
④	18.4	16.0	16.0	14.3

### 【教職課程・学芸員課程】

象限	24年後期 (19授業)	24年前期 (25授業)	23年後期 (15授業)	22年後期 (18授業)
①	21.1	8.0	26.7	22.2
②	5.3	4.0	13.3	11.1
③	10.5	24.0	20.0	11.1
④	63.2	64.0	40.0	55.6

### 【農学部】

象限	24年後期 (45授業)	24年前期 (42授業)	23年後期 (42授業)	22年後期 (37授業)
①	4.4	11.9	0.0	8.1
②	2.2	7.1	7.1	2.7
③	46.7	38.1	50.0	54.1
④	46.7	42.9	42.9	35.1

### 【全学共通教育部門】

象限	24年後期 (110授業)	24年前期 (105授業)	23年後期 (77授業)	22年後期 (63授業)
①	33.6	32.4	32.5	33.3
②	10.0	6.7	9.1	12.7
③	24.5	20.0	22.1	15.9
④	31.8	41.0	36.4	38.1

\* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から出席率を算出した。出席率が高いのは薬学部で98%に達する。一方、経営学部、経済学部、都市情報学部、法学部では6割弱にとどまる。

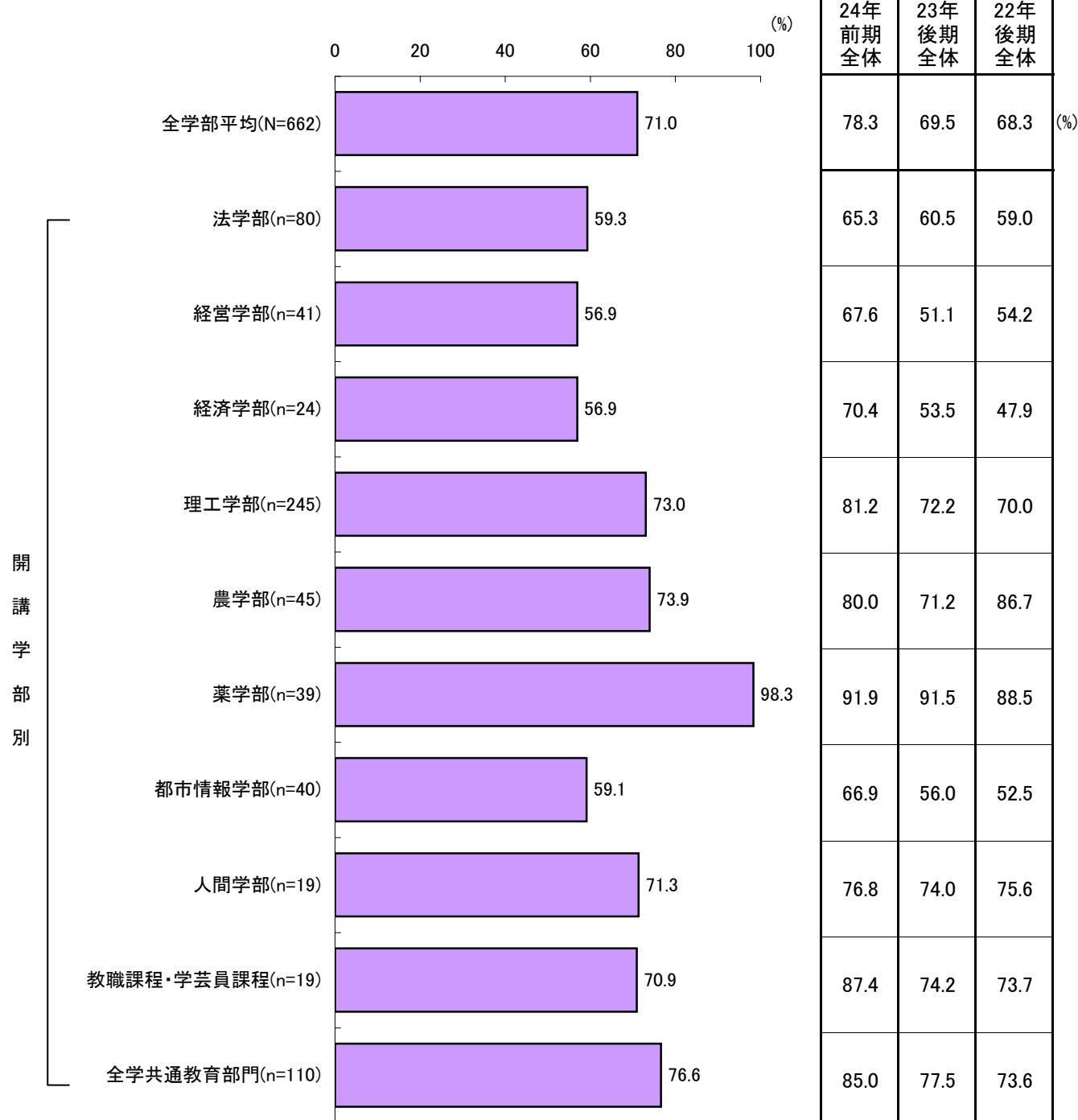
各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。ここで表す出席率とは

$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

## <24年後期 出席率>

※グラフは24年後期のスコア



# 12 出席学生数と出席学生数別授業満足度

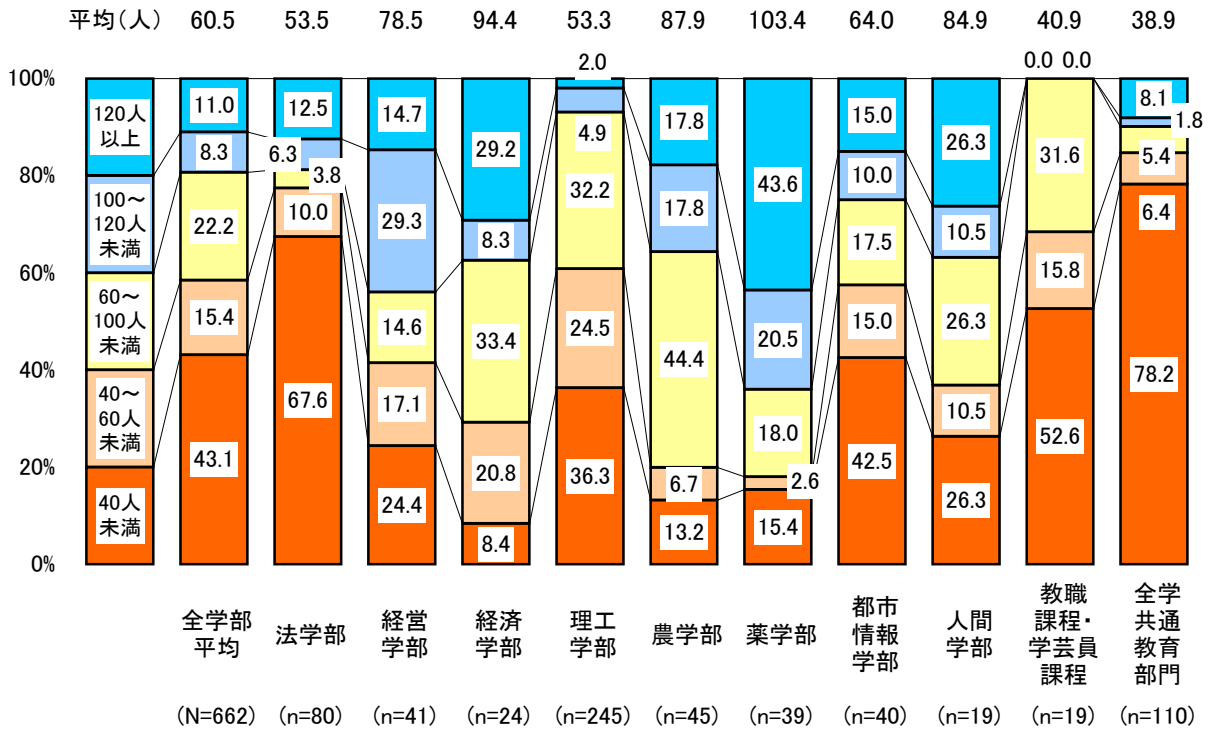
[授業]

各授業別の回答者数を出席学生数と捉え、出席学生数別に授業満足度を確認した。  
1クラスあたりの出席者が40人未満になると満足度が高くなることがわかった。それ以上の出席者の授業では出席者の人数による満足度の変化は小さい。

## <24年後期 一授業あたりのアンケート回答者数>

授業ベース

※グラフは24年後期のスコア

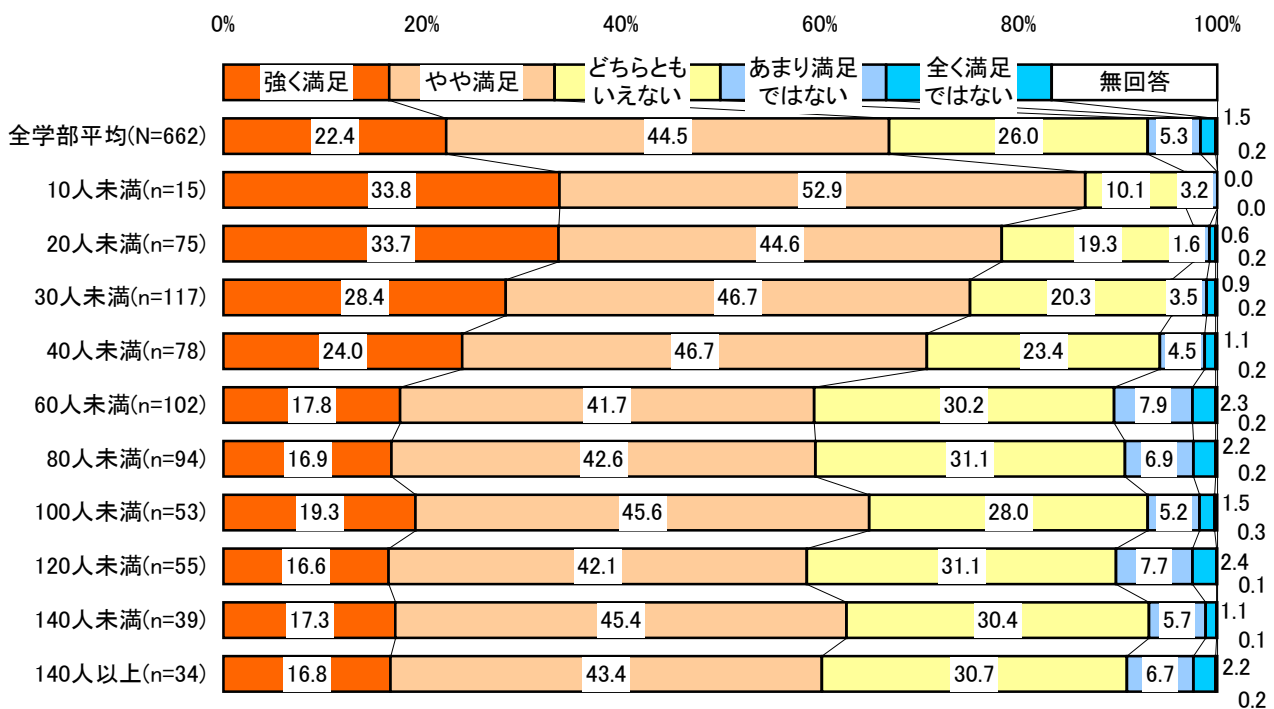


Q18. この授業は満足のいくものである。

## <24年後期 アンケート回答者数(出席学生数)別授業満足度>

授業ベース

※グラフは24年後期のスコア



# 13 授業に関する良い点（学生の自由回答） 24年前期 [学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 22,063人

順位	分類名	件数	%
①	説明が分かりやすい、テストに出るポイントが分かりやすい	5,906	26.8%
②	板書の文字が読みやすい、パワーポイントが見やすい	3,810	17.3%
③	授業が面白い	3,035	13.8%
④	資料が見やすい・分かりやすい、テキスト等を活用している	2,898	13.1%
⑤	理解度を確認しながら進めてくれる	2,809	12.7%
⑥	課題が出る、テストがある	1,224	5.5%
7	声が聞き取りやすい、話し方がよい	1,137	5.2%
8	教員の熱意を感じる、教員の人柄・態度が良い	998	4.5%
9	自ら学びたいと思える	465	2.1%
10	真面目に講義を受けている学生を評価してくれる	234	1.1%
11	成績評価基準を明確に示している	168	0.8%
12	出席を取らない、テストが持込可である	141	0.6%
13	考えさせられる、考える力がつく	139	0.6%
14	ネイティブの先生だから良い	108	0.5%
15	出席を取る、厳しい	102	0.5%
16	課題・テストの実施方法が良い	91	0.4%
17	シラバスに示された内容を満たしている	82	0.4%
18	自由である	28	0.1%
19	課題がない、テストがない	19	0.1%
20	その他	84	0.4%

## ◆主な意見

### 【教員の教え方に関する意見】

#### <説明が分かりやすい、テストに出るポイントがわかりやすい>

- ・一つひとつの事例を明確に分かりやすく説明して下さるので、印象に残る授業だと思いました。
- ・基礎的なことをわかりやすく説明されているので、新しい事を学ぶ時に全く講義についていけないということがないので助かります。
- ・試験に出そうな点や重要な所は、板書する際に教えてくださるのでノートに目立つよう書けるので嬉しい。
- ・説明に図表を多く用いていて、視覚的に理解を深める事が出来る点が良い。

#### <板書の文字が読みやすい、パワーポイントが見やすい>

- ・スライドだからとても見やすく、書くのが大変なところでもちゃんと時間をとってくれるからとてもいい。
- ・パワーポイントで、たくさん図やグラフが出てくるから分かりやすい。
- ・黒板に公式や定義を書いていたこと。
- ・黒板の内容がまとまっていて良い。ノートを見るだけで理解できる。

#### <授業が面白い>

- ・ビデオなど様々な資料を取り入れて説明しているので、とても聞いていて興味が出る。
- ・プラスαの面白い知識を教えてもらえるので授業がより充実している。
- ・外部講師を招いて、より具体的、専門的な知識を学ぶことができた。授業の最後、資料配布とパワーポイントで理解しやすい。
- ・興味がわくような例え話をしてくださるので分かりやすいです。

#### <資料が見やすい・分かりやすい、テキスト等を活用している>

- ・あらかじめプリントが配布されるため、板書ばかりに気を取られず先生の話の聞くことができる。
- ・配られるプリントの内容が整理されていて見やすい。絵や図も入っていてわかりやすい。
- ・スライドがwebで見られるから、授業中にノートに書きそびれた事をきちんとひろえた。
- ・教科書通りに進んでいるから、復習しやすい。

#### <理解度を確認しながら進めてくれる>

- ・グループワークをするなど、学生主体の講義である点が良かったと思う。
- ・質問があるか聞いたり、みんなが理解しているか確認しながらやってくれるので良いと思う。
- ・前回の授業の復習や、小テストで理解度の低かった問題の解説などは理解度や知識が深まり良いと思っている。
- ・大学院生が二人ついていたので質問しやすかった。

# 13 授業に関する良い点（学生の自由回答） 24年前期 [学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 22,063人

順位	分類名	件数	%
①	新しい知識・専門的な知識が得られる、将来役に立つ	1,908	8.6%
②	演習問題・課題に取り組む	414	1.9%
③	基礎が学べる	138	0.6%
4	他の授業との連携がある	20	0.1%
5	その他	4	0.0%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 22,063人

順位	分類名	件数	%
①	私語が少ない、集中できる環境である	1,634	7.4%
②	授業を受ける環境が良い、教室の設備が良い	99	0.4%
3	雰囲気が良い	78	0.4%
4	休憩をはさんでくれる	45	0.2%
5	少人数制である	23	0.1%
6	席が指定されていない	11	0.0%
7	その他	7	0.0%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <課題が出る、テストがある>

- ・毎回、小テストがあるので、基礎事項が確認できて良い。
- ・講義開始時と終了時のクリッカーテストは復習する機会を与えてくれるから良いと思った。

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

##### <新しい知識・専門的な知識が得られる、将来役に立つ>

- ・先生が時事問題など為になる雑談を入れてくれるため、ニュースにそれらが出ると見るクセがついた。具体的なケースを挙げて解説してくれるのが分かりやすい。
- ・この後の人生に役立つことが多く、本当に勉強になる。心の向上となる。
- ・プレゼンテーションがあるので、資料の作成や人前で話す練習になり良いと思う。
- ・野外実習により、机上だけでなく、自分の身で体験できる。

##### <演習問題・課題に取り組む>

- ・実践的に問題を解くことにより理解が深まる。
- ・毎回授業の最後に問題を出すので、授業を聞かなければという気持ちになる。

##### <基礎が学べる>

- ・ものすごく基礎的なところからやっているため、見落としがちなものもやってくれるのがありがたい。
- ・心理学に関する基礎的な知識がたくさん得られ、心理学に対する興味、関心も深められた。グループ活動で友達との交流ができた。

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

##### <私語が少ない、集中できる環境である>

- ・緊張感があって集中できる。
- ・講義中の私語は本当に少ないと思うし、途中から来た人に注意するなどもしっかりしていて良いと思いました。
- ・私語に対してすぐに注意して、授業に集中しやすいような雰囲気作りがされており良いと思った。
- ・席が決まっているので、私語が少なく集中しやすい。

##### <授業を受ける環境が良い、教室の設備が良い>

- ・スクリーンがたくさんあるので見やすい。
- ・黒板が二つあるので、書くのが多少速くても理解しながらノートを取れる。

# 13 授業に関する良い点（学生の自由回答） 24年後期 [学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 14,213人

順位	分類名	件数	%
①	説明が分かりやすい、テストに出るポイントが分かりやすい	3,462	24.4%
②	授業が面白い	2,421	17.0%
③	板書の文字が読みやすい、パワーポイントが見やすい	2,379	16.7%
④	資料が見やすい・分かりやすい、テキスト等を活用している	1,829	12.9%
⑤	理解度を確認しながら進めてくれる	1,529	10.8%
⑥	課題が出る、テストがある	857	6.0%
7	声が聞き取りやすい、話し方がよい	657	4.6%
8	教員の熱意を感じる、教員の人柄・態度が良い	603	4.2%
9	自ら学びたいと思える	253	1.8%
10	考えさせられる、考える力がつく	170	1.2%
11	真面目に講義を受けている学生を評価してくれる	164	1.2%
12	成績評価基準を明確に示している	159	1.1%
13	課題・テストの実施方法が良い	106	0.7%
14	出席を取らない、テストが持込可である	86	0.6%
15	出席を取る、厳しい	65	0.5%
16	シラバスに示された内容を満たしている	54	0.4%
17	ネイティブの先生だから良い	28	0.2%
18	課題がない、テストがない	15	0.1%
19	その他	79	0.6%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <説明が分かりやすい、テストに出るポイントが分かりやすい>

- ・重要なポイントをおさえながら授業を進めてくれるので、とても授業についていきやすいし、理解しやすいです。
- ・実際のデータなどを見たり、例を出したりしてくれるため分かりやすい。
- ・試験の重要なポイントを教えて頂けるのはとてもありがたいです。
- ・図や表を多く取り入れ、視覚的な情報が多いため分かりやすいです。

##### <授業が面白い>

- ・先生が自らの体験を説明の間に入れて話をされているので、興味を持って聞くことができている。
- ・ビデオを使用していたので、興味を引きつけられました。
- ・高校とは違う視点から歴史を学べて楽しいです。
- ・学生に興味を持たせるような内容が多いので取り組みやすい。

##### <板書の文字が読みやすい、パワーポイントが見やすい>

- ・板書の字がきれいなので分かりやすい。どこが重要なのかもきちり示されている。
- ・図等をスライドで示してもらえるので理解しやすいです。
- ・パワーポイントで重要な部分を見やすくしてくれていて、テストに向けての勉強がしやすいと思った。
- ・途中式や計算を書いてくれるのでありがたい。

##### <資料が見やすい・分かりやすい、テキスト等を活用している>

- ・プリントが見やすく、スペースもあるので、先生の話していることで大事なところをメモしたい時に瞬時に書ける。
- ・教科書の内容が資料にまとめられていて、大切なポイントを理解することができました。
- ・プリントに表や図が載っていて、とても分かりやすかった。
- ・カッコ埋めのプリントがあるため、講義は受けやすく、理解しやすい。

##### <理解度を確認しながら進めてくれる>

- ・授業の始めに復習があるので理解しやすい。
- ・院生の方がいるので、質問にすぐ対応してもらえる。進行度を毎回確認してくれるので、一つひとつ丁寧に進めていくことができる。
- ・生徒の理解度を気かけながら授業を進めてくれるので、非常に分かりやすかった。
- ・グループを組んでディスカッションをする授業は周りの意見など聞くことができ、とても楽しみながら学習することができました。

# 13 授業に関する良い点（学生の自由回答） 24年後期 [学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 14,213人

順位	分類名	件数	%
①	新しい知識・専門的な知識が得られる、将来役に立つ	1,304	9.2%
②	演習問題・課題に取り組む	325	2.3%
③	基礎が学べる	165	1.2%
④	パソコンを使用した授業で分かりやすい	36	0.3%
5	他の授業との連携がある	35	0.2%
6	その他	4	0.0%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 14,213人

順位	分類名	件数	%
①	私語が少ない、集中できる環境である	1,159	8.2%
②	雰囲気が良い	71	0.5%
3	休憩をはさんでくれる	34	0.2%
4	少人数制である	27	0.2%
5	授業を受ける環境が良い、教室の設備が良い	13	0.1%
6	その他	11	0.1%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <課題が出る、テストがある>

- ・レポートを定期的に出してくれるので、それを通じて理解ができてくる。
- ・毎授業、小テストがあるので毎週、勉強する習慣がついたので良いと思います。

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

##### <新しい知識・専門的な知識が得られる、将来役に立つ>

- ・新聞を使って説明してくれるから分かりやすい。
- ・身近なニュースを取り上げ講義で話してくれるから、時事に詳しくなれる。
- ・名古屋城の見学など、講義での知識が体感できたことはおもしろかった。
- ・将来、自分の為になりそうな事が目白押しで楽しかった。

##### <演習問題・課題に取り組む>

- ・講義中に練習問題があるので応用力がつくし、理解した上で次の講義にのぞめる点。
- ・授業中演習をはさむことで授業に対する集中度が上がったと思います。

##### <基礎が学べる>

- ・基礎的な部分をしっかりと教え、応用などに生かしやすいようになっている。
- ・歌を使って発音や語句の練習があったので覚えやすい。

##### <パソコンを使用した授業で分かりやすい>

- ・インターネットを利用して分かりやすく説明しようとしている点。
- ・e-learningによる予習、復習は授業の内容を包括した分かりやすい物でとても良かったと思います。他の講義においても積極的に導入されると良いなと思います。

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

##### <私語が少ない、集中できる環境である>

- ・私語や雑談がないので受けやすい。集中しやすい。
- ・私語や携帯への対応が良いので、全体的に静かに授業を行えるので良いと思います。
- ・授業中は静かで話が聞き取りやすく、ストレスなく授業を受けることができた。
- ・指定席で私語が少なく、授業に集中できた。

##### <雰囲気が良い>

- ・学生が積極的に発言できるような雰囲気がある。
- ・いい雰囲気の授業で居心地が良い。

# 14 授業に関する改善点（学生の自由回答） 24年前期 [学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 12,298人

順位	分類名	件数	%
①	板書の文字が読みにくい、パワーポイントが見にくい	4,067	33.1%
②	説明が分かりにくい、テストに出るポイントが分かりにくい	1,639	13.3%
③	声が聞き取りにくい、話し方が悪い	1,352	11.0%
④	資料が見にくい・分かりにくい、テキスト等を活用していない	1,069	8.7%
⑤	理解度を確認しながら進めてくれない	984	8.0%
6	課題・テストの実施方法に問題がある	382	3.1%
7	授業がつまらない	311	2.5%
8	教員の熱意が感じられない、教員の人柄・態度が良くない	308	2.5%
9	出欠の取り方に問題がある	136	1.1%
10	出席を取る、厳しい、テストが持込不可である	120	1.0%
11	課題が出る(課題が多い)、テストがある(テストが多い)	110	0.9%
12	成績評価基準が明確ではない	96	0.8%
13	課題が出ない、テストがない	93	0.8%
14	ネイティブの先生なので、日本語での説明が分かりにくい	73	0.6%
15	真面目に講義を受けている学生を評価してくれない	72	0.6%
16	グループワークの実施方法に問題がある	57	0.5%
17	テキストが高い、テキストが多い	55	0.4%
18	生徒の当て方に問題がある	47	0.4%
19	出席を取らない、出席に対して甘い	41	0.3%
20	休講・補講が多い、休講を早めに教えて欲しい	33	0.3%
21	シラバスに示された内容を満たしていない	16	0.1%
22	先生の準備不足	11	0.1%
23	その他	116	0.9%

## ◆主な意見

### 【教員の教え方に関する意見】

#### <板書の文字が読みにくい、パワーポイントが見にくい>

- ・スライドショーの字を写す事で精いっぱい、せつかくの先生の話を聞き取れない時がある。
- ・授業はスライドを使ってやっているけれど、次へ進むスピードが早い。もっとスライドを見せる時間を長くした方が良い。プリントをプロジェクターに映すと、式の係数が小さくて見えない。
- ・ホワイトボードに書かれると後ろでは見えない。
- ・黒板の字が読みづらい時があったり、略字でわからなかったりしたので、きちんと書いた方が良いと思いました。

#### <説明が分かりにくい、テストに出るポイントが分かりにくい>

- ・テストの重要な所をもう少し詳しく教えてほしい。
- ・重要なポイントをもっと明確にした方が学生の意欲もわくと思った。
- ・話は分かりやすいが、すぐ脱線するので、何が大切なのかよく解からなくなる。余談と授業の区別が分からない。
- ・授業のペースが早い時と遅い時があること。

#### <声が聞き取りにくい、話し方が悪い>

- ・たまに何をしゃべっているか分からないから、もう少しゆっくり話してほしい。
- ・声の小さい時があるので、マイクを使ってほしい。
- ・先生の一定のテンポでの話し方は眠気を誘います。
- ・語尾までしっかりと話して下さい。最後が聞き取りにくいです。

#### <資料が見にくい・分かりにくい、テキスト等を活用していない>

- ・スライドをパソコンにアップして欲しいです。授業中カメラがパシャパシャするので。
- ・プリントにメモ欄が欲しい。
- ・プリントを見るだけでなく、ノートに書かせた方が良いと思う。
- ・もっと教科書をしっかり活用してほしいです。



# 14 授業に関する改善点（学生の自由回答） 24年前期 [学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 12,298人

順位	分類名	件数	%
①	演習問題・課題に取り組まない	153	1.2%
②	新しい知識・専門的な知識が得られない、将来役立たない	115	0.9%
③	基礎が学べない	39	0.3%
4	他の授業との連携がない	26	0.2%
5	その他	22	0.2%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 12,298人

順位	分類名	件数	%
①	私語が多い、集中できない環境である	1,428	11.6%
②	授業を受ける環境が良くない、教室の設備が良くない	501	4.1%
3	受講生が多すぎる	95	0.8%
4	学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がない	69	0.6%
5	時間割が良くない	63	0.5%
6	席が指定されている	48	0.4%
7	休憩をはさんでくれない、トイレに行かせてくれない	40	0.3%
8	学力に合っていない(学力別授業ではない)	23	0.2%
9	その他	14	0.1%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <理解度を確認しながら進めてくれない>

- ・グループでのディスカッション等があっても面白いと思う。
- ・演習の解説を少しとり入れてもらえると理解度が増すと思った。
- ・授業のスピードが速いので、もう少し生徒の様子を見て欲しい。
- ・小テストを返して欲しい。何を間違えたのか、どんな問題が出たのか、確認したい。

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

##### <演習問題・課題に取り組まない>

- ・もう少し計算など例題をたくさんやれば理解できるので、増やして欲しい。
- ・新しい分野なので、毎回とは言わないが、定期的に確認問題のようなものを取り入れてくれると助かるし、理解もしやすいと思う。

##### <新しい知識・専門的な知識が得られない、将来役立たない>

- ・もっと身近なものや興味を引くことを積極的に授業してほしい。
- ・コンピュータ演習がもう少し回数増えると嬉しいし、授業内容も理解しやすいと思う。
- ・もう少し高度で実践的なことをやりたい。アウトライン的な知識はもう十分だ。
- ・英会話だから、もっと話す機会があった方がいいと思います。

##### <基礎が学べない>

- ・いろいろなグラフがあっても面白いが、so whatとなることが多い。何のために、なぜこうなったのかという根本からの説明が欲しい。
- ・授業をはじめるにあたり、基礎知識をもっと重点的につけて欲しかった。

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

##### <私語が多い、集中できない環境である>

- ・私語がひどい学生については、もっと厳しく対応して良いかと思います。
- ・私語が多い。スライドをカメラで撮る人、携帯で撮る人がいる。
- ・私語対策として、座席指定をする。

##### <授業を受ける環境が良くない、教室の設備が良くない>

- ・部屋の大きさが人数とあまり比例していない。
- ・冷暖房をしっかりとしてほしい。授業が受けづらいです。

# 14 授業に関する改善点（学生の自由回答） 24年後期 [学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 7,256人

順位	分類名	件数	%
①	板書の文字が読みにくい、パワーポイントが見にくい	2,486	34.3%
②	説明が分かりにくい、テストに出るポイントが分かりにくい	864	11.9%
③	資料が見にくい・分かりにくい、テキスト等を活用していない	760	10.5%
④	声が聞き取りにくい、話し方が悪い	646	8.9%
⑤	理解度を確認しながら進めてくれない	584	8.0%
6	課題・テストの実施方法に問題がある	297	4.1%
7	教員の熱意が感じられない、教員の人柄・態度が良くない	198	2.7%
8	授業がつまらない	193	2.7%
9	成績評価基準が明確ではない	74	1.0%
10	出席を取る、厳しい、テストが持込不可である	70	1.0%
11	課題が出る(課題が多い)、テストがある(テストが多い)	68	0.9%
12	真面目に講義を受けている学生を評価してくれない	67	0.9%
13	課題が出ない、テストがない	61	0.8%
14	テキストが高い、テキストが多い	56	0.8%
15	出欠の取り方に問題がある	54	0.7%
16	グループワークの実施方法に問題がある	41	0.6%
17	出席を取らない、出席に対して甘い	37	0.5%
18	シラバスに示された内容を満たしていない	35	0.5%
19	生徒の当て方に問題がある	28	0.4%
20	休講・補講が多い、休講を早めに教えて欲しい	23	0.3%
21	ネイティブの先生なので、日本語での説明が分かりにくい	14	0.2%
22	先生の準備不足	10	0.1%
23	その他	67	0.9%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <板書の文字が読みにくい、パワーポイントが見にくい>

- ・板書が黒字ばかりなので、大事なポイントは赤にするとか、たまには色を変えてほしい。
- ・板書の字が小さくて読みにくいことがあります。
- ・ノートの記入している時に書くのが間に合わず、次のスライドに行く時が多々あった。
- ・スライドの文字が小さく細かくて、後ろの席では見にくかった。後ろ側のスライドも出せば、もっと授業に真剣に参加する人が増えると思う。

##### <説明が分かりにくい、テストに出るポイントが分かりにくい>

- ・できればテストについてももう少し詳しい範囲(要点やテストで出そうところ)を言ってほしい。
- ・講義内容について重要なポイントがどこなのか分かりにくい。
- ・少し雑談が長い時があったので、もう少し短くしてもよいかもしれない。
- ・授業スピードが早くなったり、遅くなったりするのを止めてほしい。

##### <資料が見にくい・分かりにくい、テキスト等を活用していない>

- ・教科書を購入したのに講義で使う機会がなかったので、教科書を使って講義をしてほしい。
- ・プリントの印刷が潰れていたり、薄かったりして見にくい時がある。
- ・プリントの書き込み部分が狭くて書きづらい。webクラスに資料をアップしてほしい。
- ・穴埋めプリントで進めた方がわかりやすい。

##### <声が聞き取りにくい、話し方が悪い>

- ・マイクの音量が小さく、席が近くないと聞き取りづらかった。もう少し音量を上げてほしい。
- ・声が聞き取りづらかったので、もう少しはっきり話して頂ければ幸いです。
- ・早口で話す部分があって、説明が聞き取りにくい部分がある。
- ・先生の話し方が眠たくなる。

# 14 授業に関する改善点（学生の自由回答） 24年後期 [学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 7,256人

順位	分類名	件数	%
①	演習問題・課題に取り組まない	104	1.4%
②	新しい知識・専門的な知識が得られない、将来役立たない	81	1.1%
3	基礎が学べない	28	0.4%
④	他の授業との連携がない	16	0.2%
5	その他	17	0.2%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 7,256人

順位	分類名	件数	%
①	私語が多い、集中できない環境である	664	9.2%
②	授業を受ける環境が良くない、教室の設備が良くない	165	2.3%
3	席が指定されている	47	0.6%
4	学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がない	32	0.4%
5	時間割が良くない	21	0.3%
6	休憩をはさんでくれない、トイレに行かせてくれない	16	0.2%
7	受講生が多すぎる	11	0.2%
7	学力に合っていない(学力別授業ではない)	11	0.2%
9	その他	7	0.1%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

＜理解度を確認しながら進めてくれない＞

- ・問題の答案返却と答え合わせをやりたい。
- ・前の講義の内容を復習してほしい。
- ・講義中に学生を指名し質問する事で、より理解を深める事ができるのではないのでしょうか。
- ・授業のペースが少し速いと思ったので、もう少しゆっくりやってほしかったです。

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

＜演習問題・課題に取り組まない＞

- ・演習のプリントなどいただけるとありがたい。
- ・授業の内容が難しいので、演習の時間をもう少し増やして理解度を高められると良いと思った。

＜新しい知識・専門的な知識が得られない、将来役立たない＞

- ・装置があったら、実際に見せてくれるとより興味が持てると思う。
- ・新しい知識があまり得られない。
- ・もっと専門的な事をやりたかったです。
- ・もっと実践的な会話文などの練習もしたいと思いました。

＜他の授業との連携がない＞

- ・授業ごとに使う記号が違うので、統一してほしい。
- ・IとIIで共通な教科書を指定した方が後で参照がしやすく、予習しやすい。
- ・化学実験でやった前提で話されていく内容を化学の講義でされていないこと。

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

＜私語が多い、集中できない環境である＞

- ・私語が多い生徒に対し軽い注意で済ますのではなく、退室を強要するぐらい強い口調で注意するべき。
- ・座席は指定された方が良いと思いました。真面目に受けている人が集中できないので。
- ・授業中の出入りが気になったから対応してほしい。

＜授業を受ける環境が良くない、教室の設備が良くない＞

- ・空調設備をもっと整えてほしい。
- ・人数が多いので、もう少し広い教室を使った方が良いと思った。

## 15 アンケート結果を受けて改善していきたい点（教員の自由回答）24年前期 [教員]

アンケートに回答した学生への返答の機会として、本アンケート結果に対するコメントをいただきました。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

アンケート結果に対してコメントをいただいた教員数 351人

順位	分類名	件数	%
①	大切なポイントを示している・わかりやすい説明をしている／示したい・説明をしたい 学生の理解度を確認しながら進めている／確認しながら進めたい	168	47.9%
②	学問への興味・関心が引き起こされている／引き起こしたい 興味がわくように工夫した進め方をしている／工夫した進め方をしたい	117	33.3%
③	板書や資料等の文字は読みやすい・わかりやすい／読みやすくしたい・わかりやすくしたい	65	18.5%
③	学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい	65	18.5%
⑤	自分で調べ考える姿勢が得られている／得られるようにしたい 自学自習することを勧めている(させている)／自学自習することを勧めたい(させたい)	57	16.2%
6	新しいことを教えている／教えたい 将来に役立つことを教えている／教えたい	40	11.4%
7	私語に対してきちんと対応している／きちんと対応したい	31	8.8%
8	明瞭で聞き取りやすい話し方をしている／話し方をしたい	22	6.3%
9	熱意をもって取り組んでいる／取り組みたい	7	2.0%
10	その他の改善項目	56	16.0%
11	改善していきたい／今のまま続けていきたい(具体的な改善項目なし)	30	8.5%
12	大学側で改善してほしい	17	4.8%
13	アンケートに関する意見	7	2.0%
14	その他	6	1.7%

### ◆主な意見

#### <大切なポイントを示したい・説明をしたい、学生の理解度を確認しながら進めたい>

- ・「理解配慮」の数値が低かったことは残念であった。今後はweb classをより充実させ、クイズ形式もしくはミニテスト形式で受講生の理解度をその都度チェックできるよう、準備を進めていきたい。
- ・今年度の講義は、「3・11後」の「世界・日本経済をどうとらえるのか」という大きなテーマに挑戦しながら、産業集積論を展開しました。課題が多すぎた面があり、消化不良になる学生もいるかと思えます。講義内容を整理し、次年度は、もっとわかりやすい講義にしていきたいと思えます。

#### <学問への興味・関心を引き引き起こしたい、興味がわくように工夫した進め方をしたい>

- ・興味喚起については卒論や修論テーマとして実施している自動車や飛行機の無人操縦について、その動画を授業の初回に見せるなどして制御技術の興味喚起していますが、さらに身近な例としてエアコンの温度制御の事例を最初の授業で説明を追加し、より具体的なイメージが湧くように、また、技術に関する親近感や役立ち度を改善していきます。
- ・学習内容がTOEIC対策という点から、リスニングとリーディングが中心であった為、ライティングやスピーキングも学びたいと思った学生には、興味・関心があまり持てず単調と感じたかもしれない。今後は、テキスト以外の学習教材を増やすなどして変化を持たせ、創意工夫を図りたい。

#### <板書や資料等の文字を読みやすくしたい・わかりやすくしたい>

- ・よりわかりやすい講義となるよう、資料の作成などを改善したいと思えます。また、書き取る量が多すぎるとの指摘がありましたが、理解のためのポイントを見直し、学習効果の上がる書き取り量を模索します。
- ・情報量が多く、スライドの枚数が多いので必要なものを精査して示すようにする。基本は教科書に記載されている内容なので、スライドで見落とした部分や詳細は教科書で確認するように説明する。スライドのみに頼らず教科書を活用するように説明する。

#### <学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい>

- ・和訳を何度も言って欲しいと意見がありました。訳の確認も必要ですが、自分で英文がわかるか確認することも大事なので、テキストを再読し、わからない箇所があれば、遠慮なく質問してください。
- ・スライドのスピードが速く、書ききれない時がある。基本的には内容を書き写すのではなく、自らがポイントを見つけ、ノートに書いてもらいたいと考えています。

#### <自分で調べ考える姿勢が得られるようにしたい、自学自習することを勧めたい(させたい)>

- ・レポートによる課題提出を成績評価に加えているが、それだけでは十分な自主学習に繋がっていないようである。学生の興味を高めるためにも、授業に関連した課題の提示方法や話題の提供方法などを検討していきたい。
- ・建築基準法は社会の要請により年々増大・複雑化しており専門家の間でも難解とされている。ガイダンスで次週の項目にあわせ予習の形で「演習問題」を出題するので、それを自ら回答し問題意識を持って授業に臨むことを要請したがアンケートの「自学自習時間」を見る限り実施している学生は少なかったため今後はねばり強く要請したい。

## 15 アンケート結果を受けて改善していきたい点（教員の自由回答）24年後期 [教員]

アンケートに回答した学生への返答の機会として、本アンケート結果に対するコメントをいただきました。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

アンケート結果に対してコメントをいただいた教員数 281人

順位	分類名	件数	%
①	大切なポイントを示している・わかりやすい説明をしている／示したい・説明をしたい 学生の理解度を確認しながら進めている／確認しながら進めたい	106	37.7%
②	学問への興味・関心が引き起こされている／引き起こしたい 興味がわくように工夫した進め方をしている／工夫した進め方をしたい	100	35.7%
3	板書や資料等の文字は読みやすい・わかりやすい／読みやすくしたい・わかりやすくしたい	45	16.1%
④	自分で調べ考える姿勢が得られている／得られるようにしたい 自学自習することを勧めている(させている)／自学自習することを勧めたい(させたい)	43	15.3%
⑤	学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい	38	13.6%
⑥	新しいことを教えている／教えたい 将来に役立つことを教えている／教えたい	32	11.4%
7	私語に対してきちんと対応している／きちんと対応したい	17	6.1%
8	明瞭で聞き取りやすい話し方をしている／話し方をしたい	11	3.9%
9	熱意をもって取り組んでいる／取り組みたい	2	0.7%
10	その他の改善項目	48	17.1%
11	改善していきたい／今のまま続けていきたい(具体的な改善項目なし)	21	7.5%
12	大学側で改善してほしい	2	0.7%
13	アンケートに関する意見	25	8.9%
14	その他	1	0.4%

### ◆主な意見

#### <大切なポイントを示したい・説明をしたい、学生の理解度を確認しながら進めたい>

- ・学生の間では、学力の差や授業に対する理解度の差が大きく、それぞれの学力レベルに応じた授業の進め方が求められていることはアンケートの結果から読み取れる。できるだけその点に配慮するように努力するつもりです。
- ・試験の結果も上と下でかなりの差があったことから、学生の理解度のばらつきをより配慮して取り組む必要性を痛感した。来年度は、5限という授業時間も考慮に入れ、学力レベルが低いと認識している学生にもよりわかりやすい説明の仕方を工夫して、フランス語への興味をかき立てることで、彼らの「自学姿勢」を喚起したい。

#### <学問への興味・関心を引き引き起こしたい、興味がわくように工夫した進め方をしたい>

- ・授業内容について学生の興味を引きつけるように授業を進めたり、理解への配慮によりいっそうの努力が必要であるとの結果が出ている。来年度の授業では、「なぜ」という問いかけを大切にして興味を喚起しつつ、さらにきめ細かなレスポンス体制をとるなどの工夫を施したい。
- ・アンケートの結果を見させていただきました。この結果を踏まえて今後の授業では、日常生活における具体的なことに結びつけて説明を行うことで、学生のみなさんの興味や関心を高めていけるようにしたいと思います。

#### <自分で調べ考える姿勢が得られるようにしたい、自学自習することを勧めたい(させたい)>

- ・この科目の自学自習時間について、勉強していない学生が25%いたというのが気になります。毎週出している課題が行われているか、授業の中で確認しつつ、授業のプロセスを進めていきたいと思います。
- ・学生が自発的に学習を行えるよう、より工夫するつもりである。例えば、学習対象の文献範囲を広めたり、教科書使用の方法を進度に合わせてみる、といった改善を目標とし、来年度に向けて考察したい。

#### <学生側の問題である／学生も熱意・意欲(学ぶ姿勢)を持って取り組んでほしい>

- ・演習のときとか基礎ゼミで質問した人には丁寧に教えたつもりである。わからなければ自分で調べるなり質問したりして能動的に勉強して欲しい。
- ・小テストの答えを明示しないというご指摘について 社会保障の分野で、しかも論述問題に模範解答はありません。高校までは答えを覚える勉強方法だったかもしれませんが、大学では自分で考え、調べて下さい。また、自分の解答案を質問して頂ければ私の感想をお話します。

#### <新しいことを教えたい、将来に役立つことを教えたい>

- ・講義内でより多くの問題を解いてもらい身に付けてもらうことにしました。それが学生にとって一番負担が少なく講義に出席する意義があると、この授業に関しては考えました。今後は、幅広い知識と興味をもってもらうために、身近の話、特に税金関係に絡めた講義を展開していこうと考えています。
- ・改善要求度が特に高かった「将来役立」につきましては、現代の文化との関連性をさらに取り入れ、この学問が今を生きる私たちに身近なものであることを発信していきたいと思います。